

**那須塩原市の情報発信(広報誌・SNS)
に関するアンケート調査
結果報告書**

令和4(2022)年5月

【目次】

I. 調査の概要	
1. 調査の目的	2
2. 調査項目	2
3. 調査方法	2
4. 回収結果	2
5. 報告書の見方	2
II. 調査の結果	
1. 回答者の属性について	4
2. 市政情報の入手方法について	7
3. 「広報なすしおばら」を読む頻度や満足度について	9
4. 情報を発信する媒体について	14
5. 那須塩原市の魅力について	23
6. 市の情報発信への意見・感想	26

I . 調査の概要

1. 調査の目的

効果的な情報発信のあり方を検証するため、広報誌・SNS等について市民の意見を調査し、今後の情報発信に活用する。また、市民が感じる本市の魅力を調査し、情報発信の方向性やまちづくりに活用する。

2. 調査項目

- (1)回答者の属性について (1-1～1-5)
- (2)市政情報の入手方法について (2-1)
- (3)「広報なすしおばら」を読む頻度や満足度について (3-1～3-4)
- (4)情報を発信する媒体について (4-1～4-5)
- (5)那須塩原市の魅力について (5-1～5-2)
- (6)市の情報発信への意見・感想

3. 調査方法

- | | |
|---------|--|
| (1)対象者 | インターネットにアクセスできる人ならどなたでも |
| (2)調査方法 | 市ホームページ上にアンケートフォームを作成し、アクセスして回答。広報誌、みるメール、SNS等で周知。 |
| (3)調査期間 | 令和4(2022)年4月4日(月)～5月6日(金) |
| (4)回答数 | 502人 |

4. 報告書の見方

回答結果の割合「%」は有効回答数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答(複数の選択肢から一つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が100.0%にならない場合があります。また、報告書に掲載の設問及び選択肢は、アンケートの文意に留意しながら一部要約しています。前回調査(令和元年度)の数値に触れる場合は明記しています。

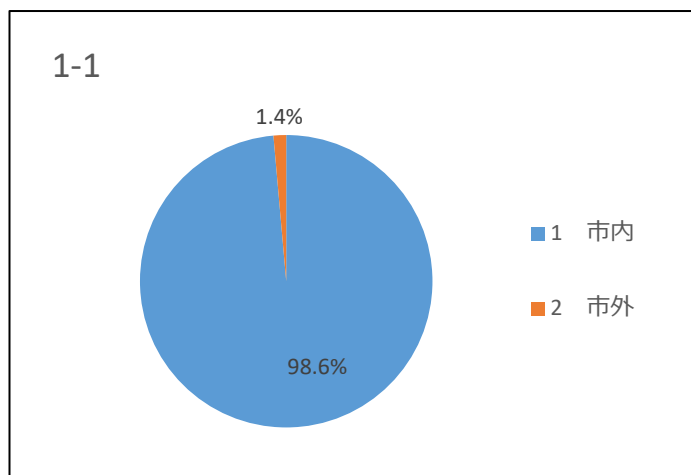
Ⅱ. 調査の結果

1. 回答者の属性について

1-1 あなたのお住まいを教えてください。

回答者の住所は、「市内」が98.6%、「市外」が1.4%となっている。

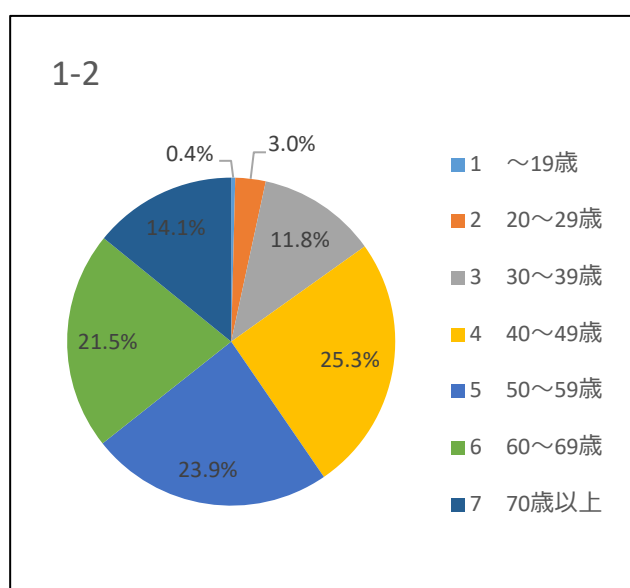
回答	件数	割合
1. 市内	495	98.6%
2. 市外	7	1.4%
有効回答数	502	100.0%
無回答・無効	0	-



1-2 あなたの年齢を教えてください。

回答者の年齢は、「40～49歳」が25.3%と最も多く、次いで「50～59歳」が23.9%、「60～69歳」が21.5%となっている。インターネットのみでの回答だったため、70歳以上が最も少なくなるかと思われたが、14.1%と「30～39歳」の11.8%よりも多い割合となった。

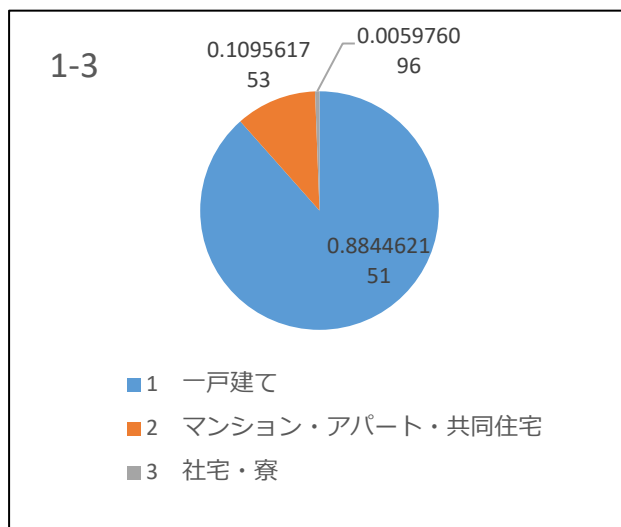
回答	件数	割合
1. ～19歳	2	0.4%
2. 20～29歳	15	3.0%
3. 30～39歳	59	11.8%
4. 40～49歳	127	25.3%
5. 50～59歳	120	23.9%
6. 60～69歳	108	21.5%
7. 70歳以上	71	14.1%
有効回答数	502	100.0%
無回答・無効	0	-



1-3 あなたの居住形態を教えてください。

回答者の居住形態は、「一戸建て」が88.4%と大半を占める。次いで、「マンション・アパート・共同住宅」が11.0%となり、「社宅・寮」は0.6%となった。

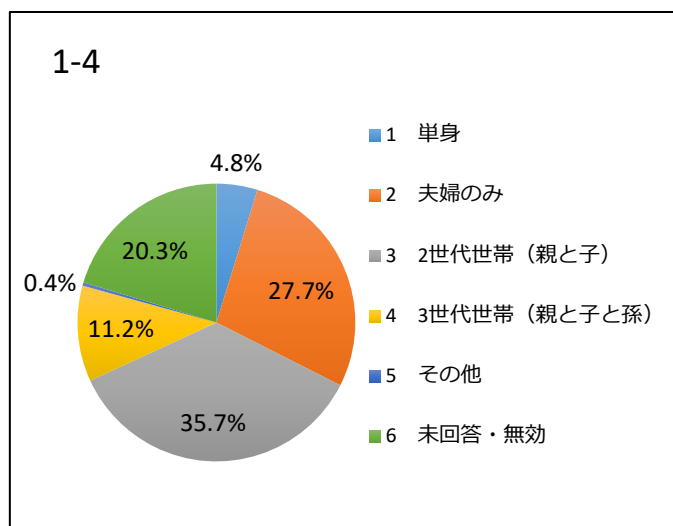
回答	件数	割合
1. 一戸建て	444	88.4%
2. マンション・アパート・共同住宅	55	11.0%
3. 社宅・寮	3	0.6%
4. その他	0	0.0%
有効回答数	502	100.0%
無回答・無効	0	-



1-4 あなたの世帯の家族構成を教えてください。

回答者の家族構成は、「2世代世帯(親と子)」が51.4%とおよそ半分。次いで、「夫婦のみ」が27.7%となり、「単身」「3世代世帯(親と子と孫)」が10%前後となっている。

回答	件数	割合
1. 単身	24	4.8%
2. 夫婦のみ	139	27.7%
3. 2世代世帯(親と子)	179	35.7%
4. 3世代世帯(親と子と孫)	56	11.2%
5. その他	2	0.4%
有効回答数	400	79.7%
無回答・無効	102	20.3%



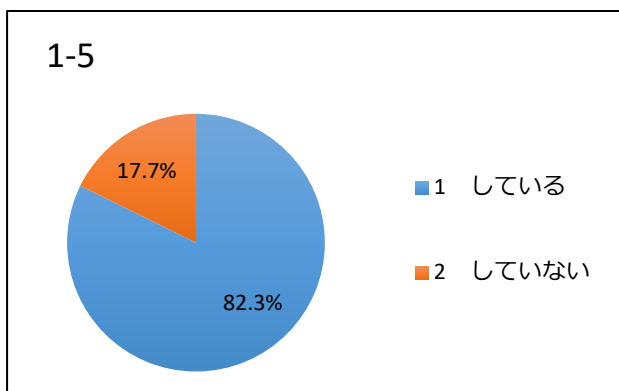
→【5.その他】の回答

- ・妹
- ・パートナー

1-5 あなたの世帯は自治会に加入していますか。

回答者の世帯の自治会への加入状況は、加入「している」が82.3%と大半を占める。

回答	件数	割合
1. している	413	82.3%
2. していない	89	17.7%
有効回答数	502	100.0%
無回答・無効	0	-

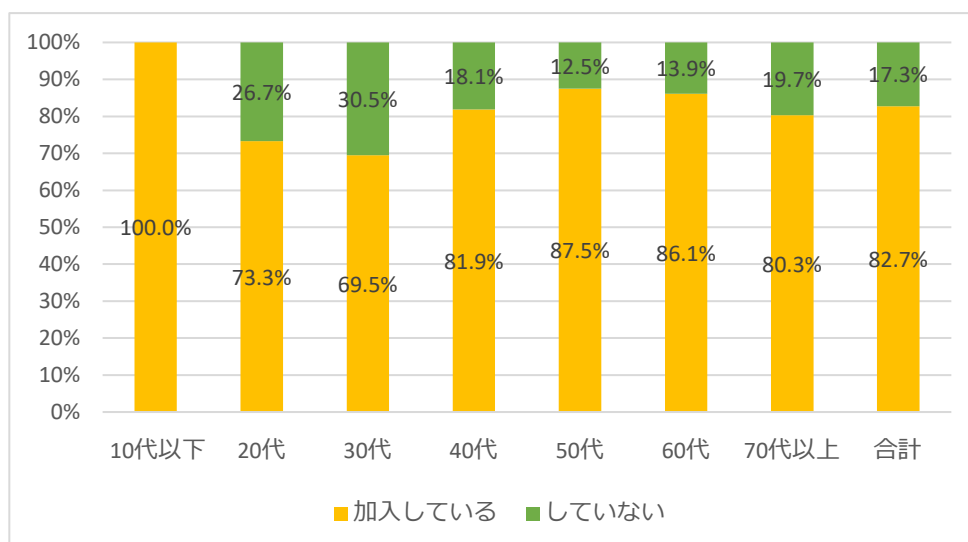


◆クロス集計(問1-5×年齢)

1-5 あなたの世帯は自治会に加入していますか。

自治会への加入状況について、「10代以下」は100%となっているが、回答数が2と少ないのに加え、自発的なものではなく同居の親が加入しているためと思われる。その他の年代では「50代」の加入率が87.5%と最も高く、「30代」の加入率が69.5%と最も低い。

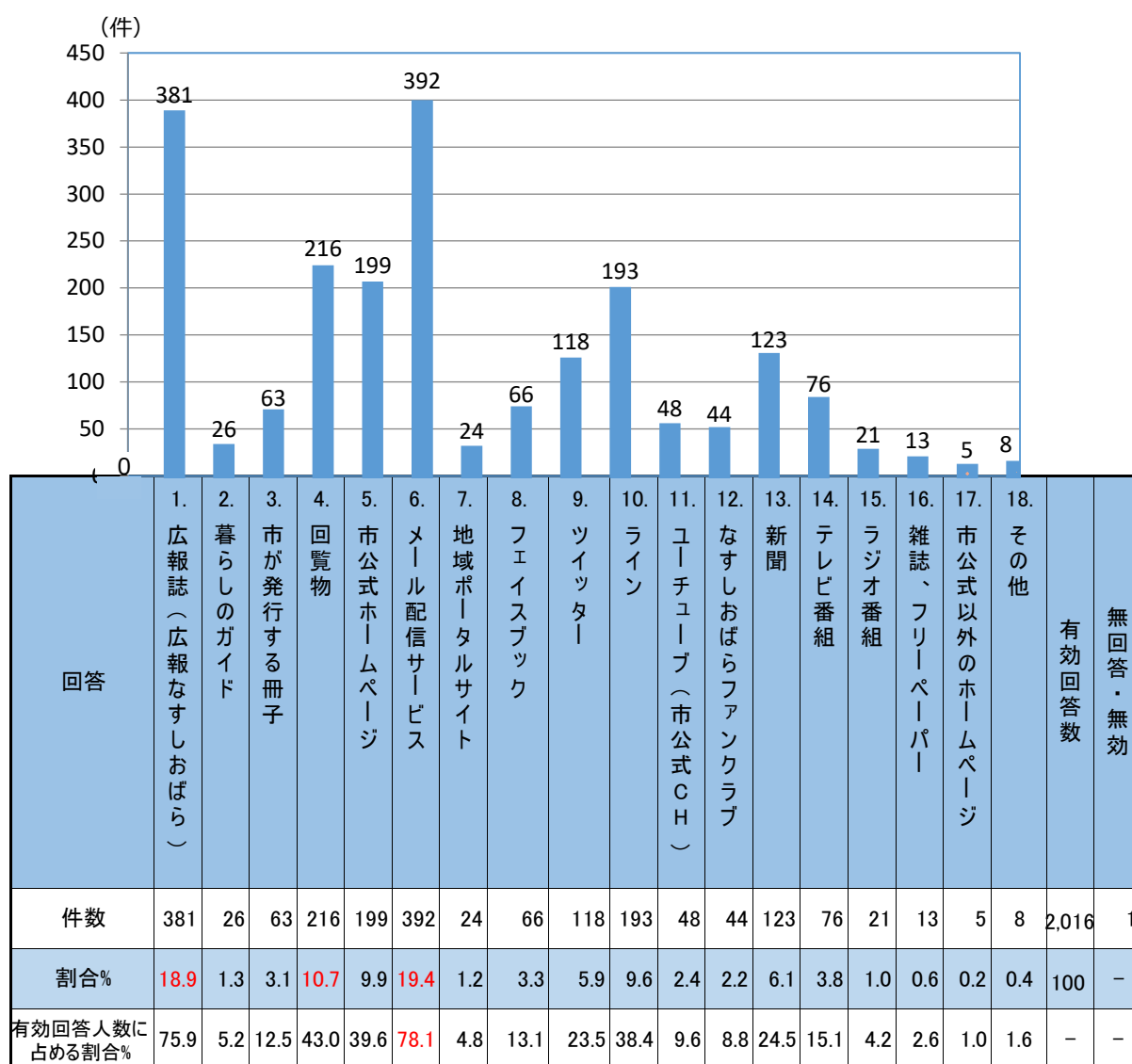
年齢	人数	加入している	していない	有効回答
10代以下	2	100.0%	0.0%	100.0%
20代	15	73.3%	26.7%	100.0%
30代	59	69.5%	30.5%	100.0%
40代	127	81.9%	18.1%	100.0%
50代	120	87.5%	12.5%	100.0%
60代	108	86.1%	13.9%	100.0%
70代以上	71	80.3%	19.7%	100.0%
合計	502	82.7%	17.3%	100.0%



2. 市政情報の入手方法について

2-1 普段、市に関する情報（事業や行事、お知らせなど）をどのような方法で得ていますか。（複数回答可）

市に関する情報の入手方法について、「メール配信サービス(みるメール)」が19.4%と最も多く、「広報誌(広報なすしおばら)」18.9%、「回覧物」10.7%と続いた。また全回答者の78.1%が「メール配信サービス」から情報を得ている。



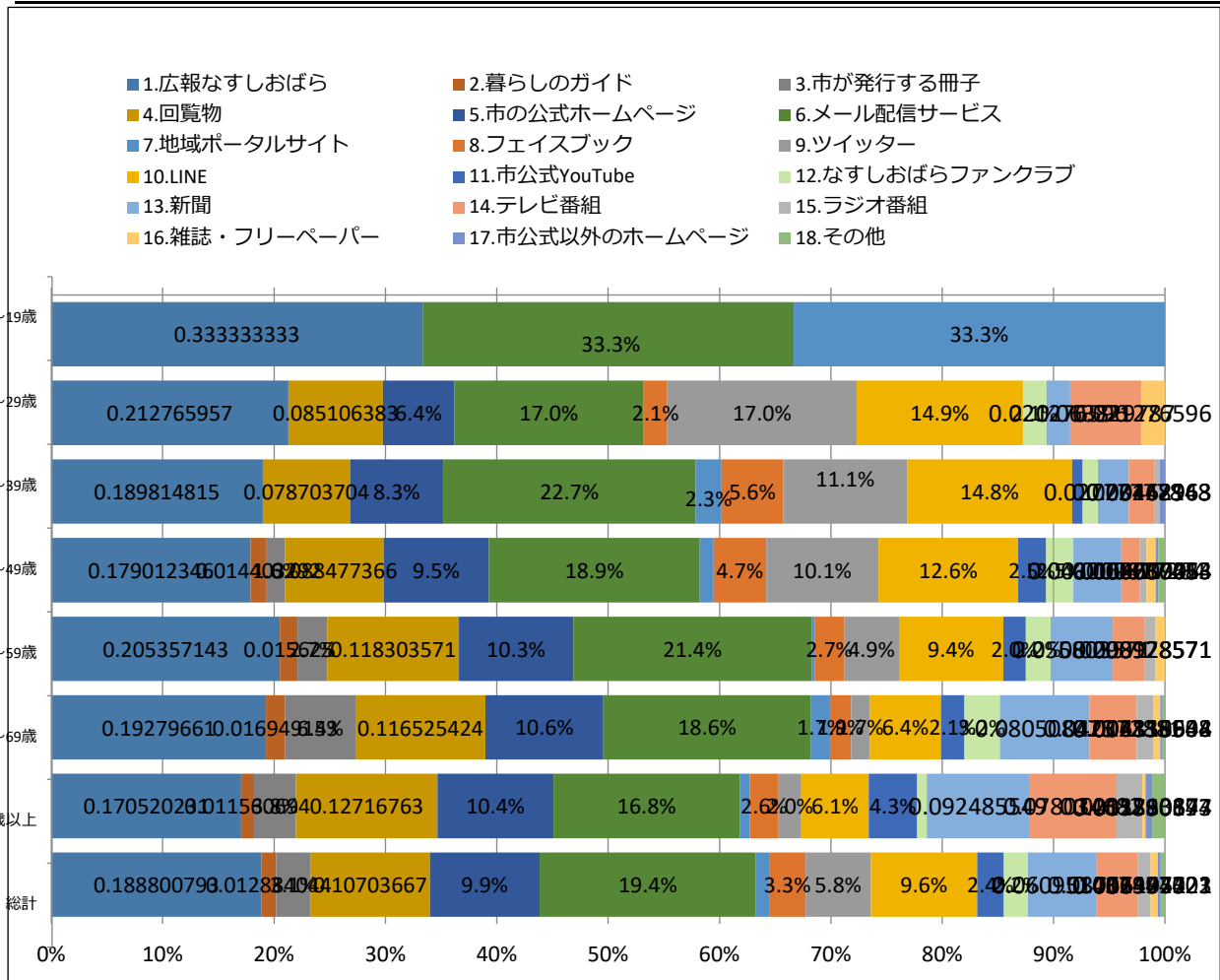
【その他】の内容 ←

道の駅	4件
市長のTwitter	2件
図書館	
社会福祉協議会広報誌等	

◆クロス集計(問2-1×年齢)

2-1 普段、市に関する情報(事業や行事、お知らせなど)をどのような方法で得ていますか。(複数回答可)

市の情報の取得元について、「広報なすしおばら」は年代を問わず17%を超えており、回答数が少ない10代以下を除くと最も割合が高いのは「20代」(21.3%)であり、次に「50代」(20.5%)であった。また、「メール配信サービス」から情報を得る市民が前回調査から大幅に増加し、「30代」「40代」「50代」で「広報なすしおばら」より高い水準となっている。



年齢	回答																		有効 回答
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
10代以下	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
20代	21.3	0.0	0.0	8.5	6.4	17.0	0.0	2.1	17.0	14.9	0.0	2.1	2.1	6.4	0.0	2.1	0.0	0.0	100.0
30代	19.0	0.0	0.0	7.9	8.3	22.7	2.3	5.6	11.1	14.8	0.9	1.4	2.8	2.3	0.5	0.0	0.5	0.0	100.0
40代	17.9	1.4	1.6	8.8	9.5	18.9	1.2	4.7	10.1	12.6	2.5	2.5	4.3	1.6	0.6	0.8	0.2	0.6	100.0
50代	20.5	1.6	2.7	11.8	10.3	21.4	0.2	2.7	4.9	9.4	2.0	2.2	5.6	2.9	0.9	0.9	0.0	0.0	100.0
60代	19.3	1.7	6.4	11.7	10.6	18.6	1.7	1.9	1.7	6.4	2.1	3.2	8.1	4.2	1.5	0.6	0.2	0.2	100.0
70代以上	17.1	1.2	3.8	12.7	10.4	16.8	0.9	2.6	2.0	6.1	4.3	0.9	9.2	7.8	2.3	0.3	0.6	1.2	100.0
合計	18.9	1.3	3.1	10.7	9.9	19.4	1.2	3.3	5.8	9.6	2.4	2.2	6.1	3.8	1.1	0.6	0.2	0.4	100.0

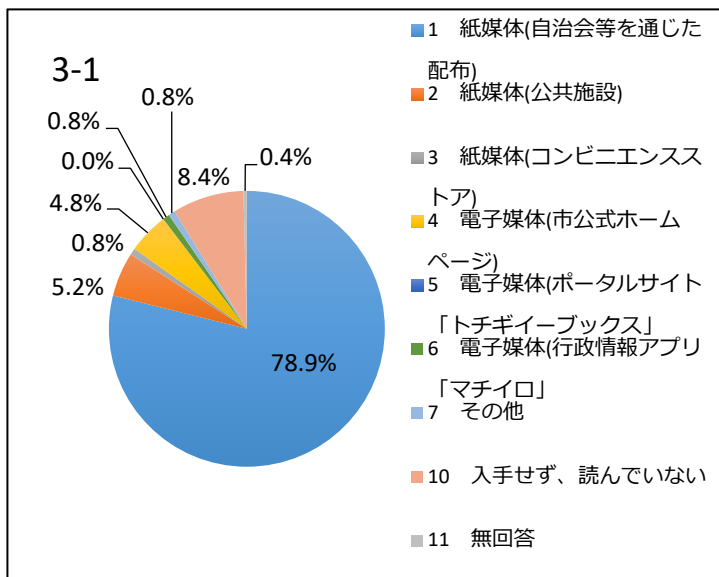
(単位:%)

3. 「広報なすしおばら」を読む頻度や満足度について

3-1 「広報なすしおばら」をどのように入手していますか。(○は1つだけ)

自治会などによる広報誌の配布によって入手している割合が78.9%と最多であるが、前回調査時の82.3%から3.4%減少した。ホームページやアプリなど、電子媒体で読む割合は5.6%となっている。

回答	件数	割合
1 紙媒体(自治会等を通じた配布)	396	78.9%
2 紙媒体(公共施設)	26	5.2%
3 紙媒体(コンビニエンスストア)	4	0.8%
4 電子媒体(市公式ホームページ)	24	4.8%
5 電子媒体(ポータルサイト「トチギーボックス」)	0	0.0%
6 電子媒体(行政情報アプリ「マチイロ」)	4	0.8%
7 その他	4	0.8%
10 入手せず、読んでいない	42	8.4%
11 無回答	2	0.4%
計	502	100.0%



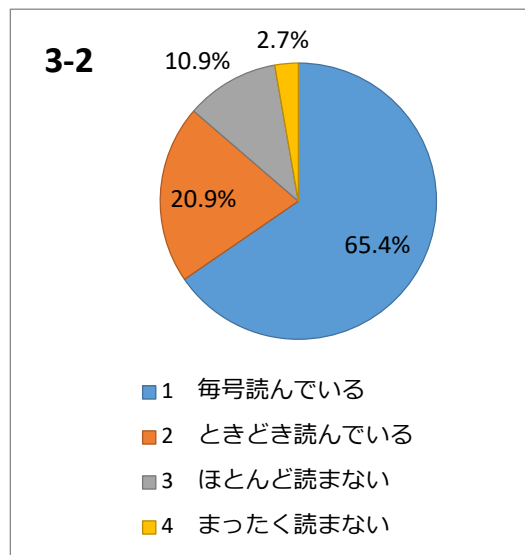
3-2 【「広報なすしおばら」を入手している方へ】

「広報なすしおばら」をどのくらい読んでいますか。(○は1つだけ)

◆3-1で「10 入手せず、読んでいない」と答えた人は除くため、対象数460

回答した人のうち、「毎号読んでいる」が65.4%と大半を占める。一方、「ほとんど読まない」10.9%、「まったく読まない」2.7%を合わせると、入手はしていても1割強が広報誌を読んでいない。

回答	件数	割合
1 毎号読んでいる	263	65.4%
2 ととき読んでいる	84	20.9%
3 ほとんど読まない	44	10.9%
4 まったく読まない	11	2.7%
有効回答数	402	100.0%
無回答・無効	58	-

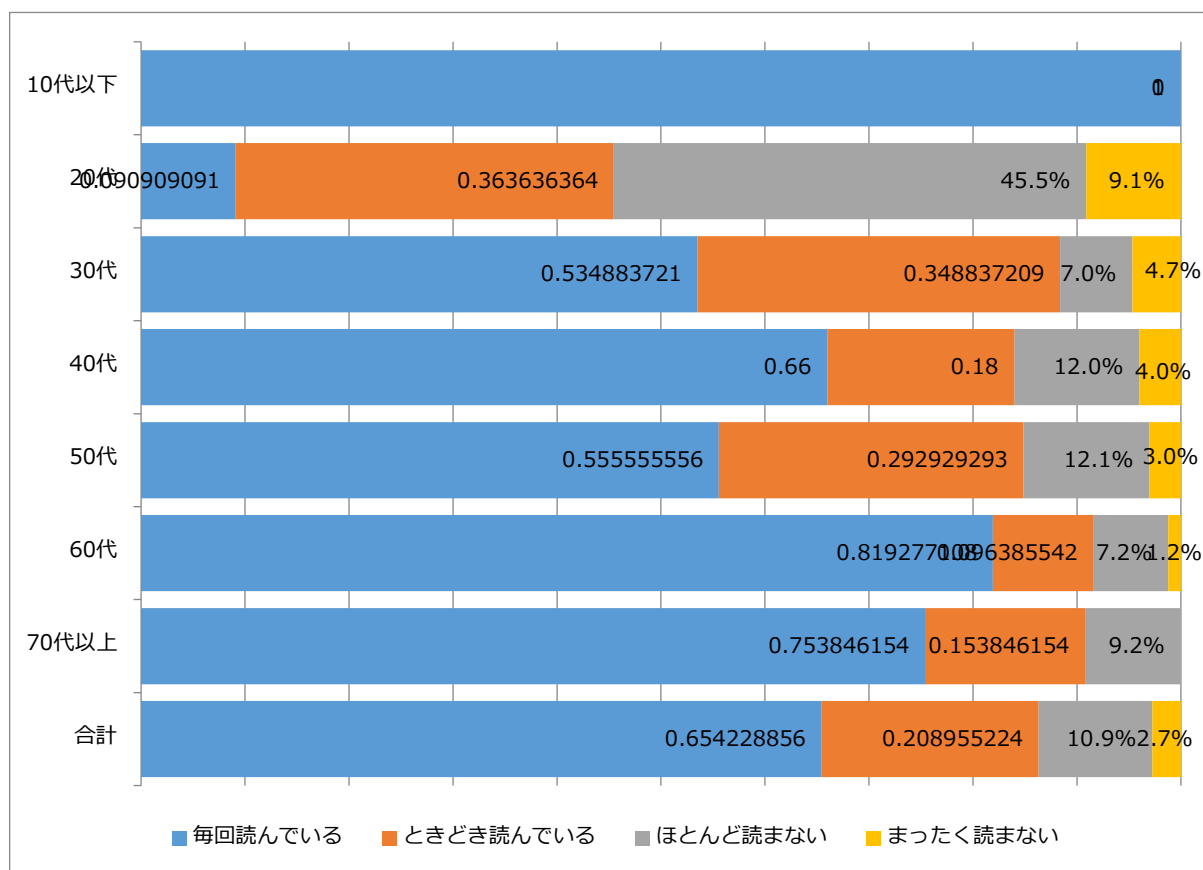


◆クロス集計(問3-2×年齢)

問3-2 「広報なすしおばら」を読んでいますか。

「広報なすしおばら」を「毎回読んでいる」と回答した人の割合は、「60代」がもっとも高い81.9%となった。一方、「20代」は9.1%となっている。「毎回読んでいる」と「ときどき読んでいる」を足した割合は、「20代」以外は全ての年代で80%を超えている。

年齢	回答				総数	無回答
	毎回読んでいる	ときどき読んでいる	ほとんど読まない	まったく読まない		
10代以下	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1	1
20代	9.1%	36.4%	45.5%	9.1%	11	1
30代	53.5%	34.9%	7.0%	4.7%	43	7
40代	66.0%	18.0%	12.0%	4.0%	100	14
50代	55.6%	29.3%	12.1%	3.0%	99	15
60代	81.9%	9.6%	7.2%	1.2%	83	16
70代以上	75.4%	15.4%	9.2%	0.0%	65	4
合計	65.4%	20.9%	10.9%	2.7%	402	58

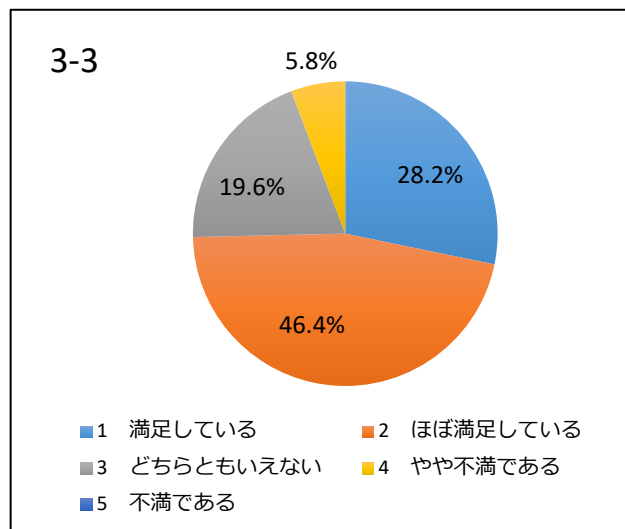


◆問3-2で広報誌を「毎回読んでいます」・「ときどき読んでいます」と答えた方のみ回答(対象数347)

問3-3「広報なすしおばら」の内容に満足していますか。

広報誌の満足度について、「ほぼ満足している」が46.4%(令和元年度:50.6%)と最も多く、「満足している」が28.2%(令和元年度:17%)と続く。「満足している」と「ほぼ満足している」を合わせると74.6%(令和元年度:67.6%)になり、「やや不満である」5.8%(令和元年度:4.0%)と「不満である」0%(令和元年度:1.3%)の合計5.8%と大きな差がある。

回答	件数	割合
1. 満足している	98	28.2%
2. ほぼ満足している	161	46.4%
3. どちらでもない	68	19.6%
4. やや不満である	20	5.8%
5. 不満である	0	0.0%
有効回答数	347	100.0%

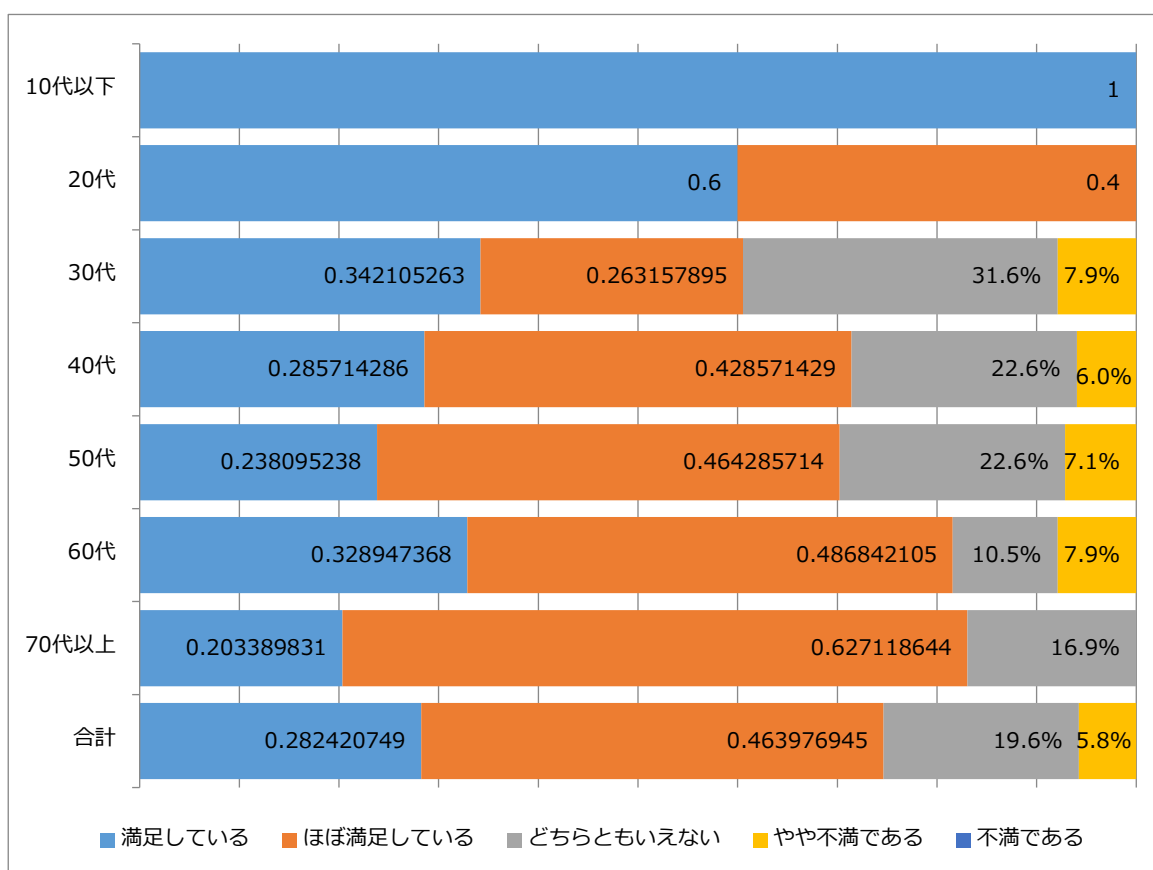


◆クロス集計(問3-3×年齢)

問3-3 「広報なすしおばら」の内容に満足していますか。

「広報なすしおばら」に「満足」「ほぼ満足」と回答した人の割合は、全ての年代で6割を超えた。「不満」と回答した人はいなかった。「やや不満」と回答した人の割合は全ての年代で1割未満であった。

年齢	回答					総計
	満足	ほぼ満足	どちらでもない	やや不満	不満	
10代以下	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
20代	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
30代	34.2%	26.3%	31.6%	7.9%	0.0%	100.0%
40代	28.6%	42.9%	22.6%	6.0%	0.0%	100.0%
50代	23.8%	46.4%	22.6%	7.1%	0.0%	100.0%
60代	32.9%	48.7%	10.5%	7.9%	0.0%	100.0%
70代以上	20.3%	62.7%	16.9%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	28.2%	46.4%	19.6%	5.8%	0.0%	100.0%

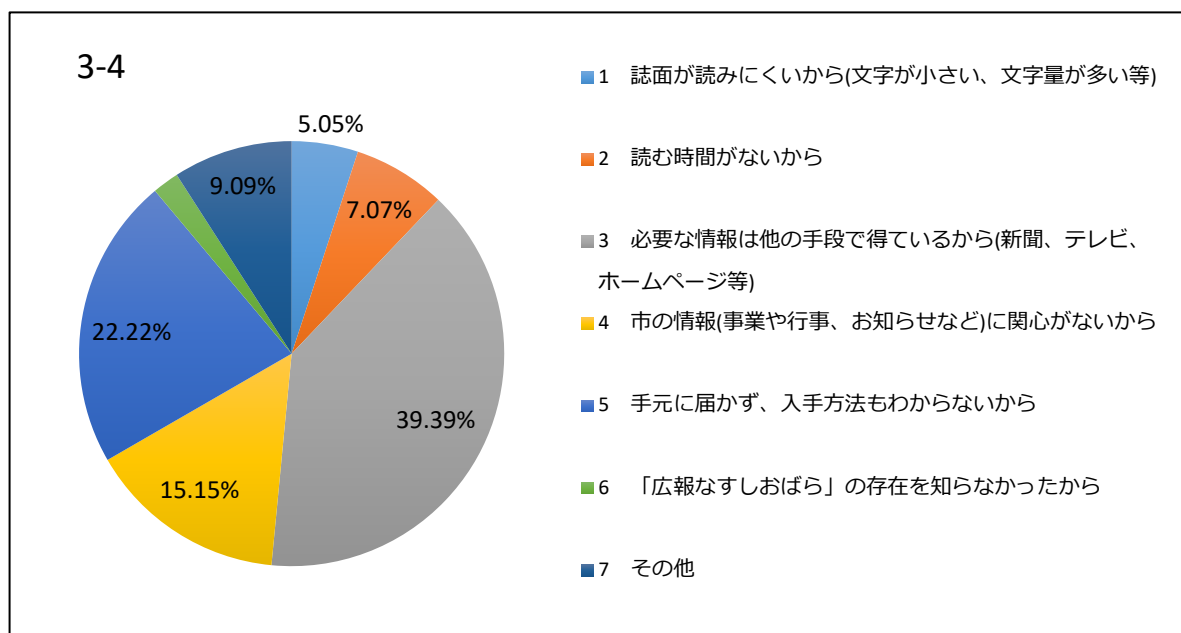


◆問3-2で広報誌を「ほとんど読まない」・「まったく読まない」と答えた方のみ回答(対象数55)

問3-4 「広報なすしおばら」を読まない理由は何ですか。

広報誌を読まない理由について、「必要な情報は他の手段で得ているから」が49.1%と最も多く、約5割を占める。「市の情報に関心がない」20%、「読む時間がない」10.9%と続く。

回答	件数	割合
1 誌面が読みにくいから(文字が小さい、文字量が多い等)	4	7.3%
2 読む時間がないから	6	10.9%
3 必要な情報は他の手段で得ているから(新聞、テレビ、ホームページ等)	27	49.1%
4 市の情報(事業や行事、お知らせなど)に関心がないから	11	20.0%
5 手元に届かず、入手方法もわからないから	2	3.6%
6 「広報なすしおばら」の存在を知らなかったから	0	0.0%
7 その他	5	9.1%
計	55	100.0%



→【その他】の内容

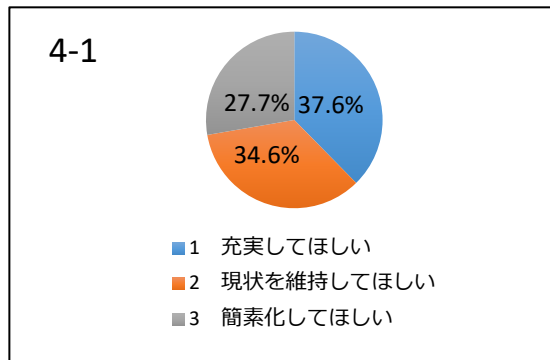
- ・関係ない事柄ばかりなので
- ・紙媒体だと家族が見てしまい回ってこない
- ・興味ない記事が多い
- ・役に立たない、存在が不要
- ・面白くないから

4. 情報を発信する媒体について

4-1 【紙媒体(「広報なすしおばら」など)】での情報発信を、今後どのように進めてほしいですか。(○は1つだけ)

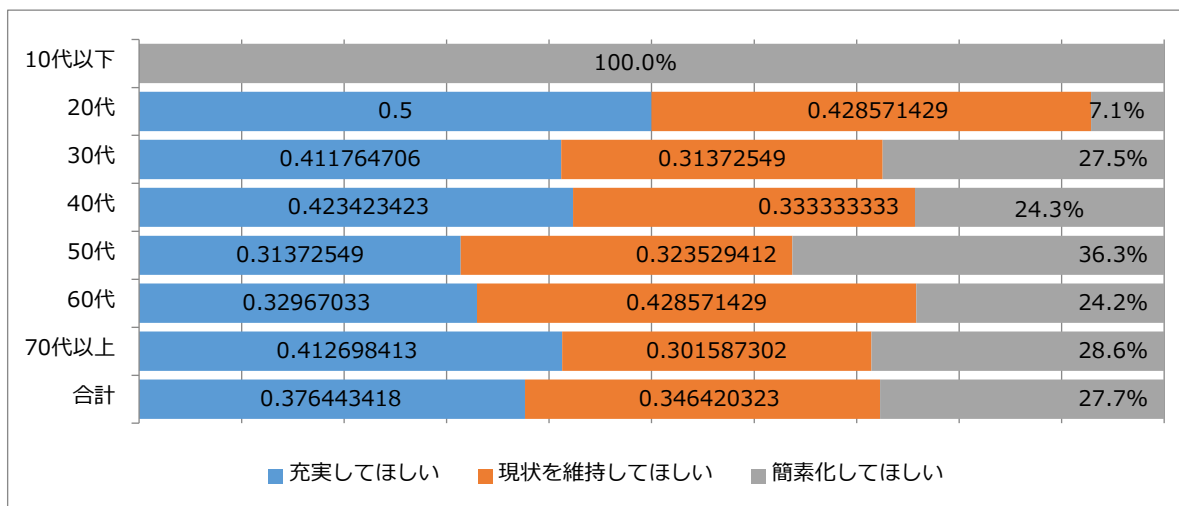
今後の紙媒体による情報発信について、「充実してほしい」が37.6%(令和元年度:33.9%)と最も多く、「現状を維持してほしい」が34.6%(令和元年度:47.6%)と続く。一方、「簡素化してほしい」は27.7%(令和元年度:18.5%)と3割弱であった。紙媒体を望む人が多い一方、簡素化を希望する人は9ポイントほど増加した。

回答	件数	割合
1. 充実してほしい	163	37.6%
2. 現状を維持してほしい	150	34.6%
3. 簡素化してほしい	120	27.7%
有効回答数	433	100.0%
無回答・無効	69	-



◆クロス集計(問4-1×年齢)

年齢	回答				
	1	2	3	有効回答数	無回答
10代以下	0	0	1	1	1
20代	7	6	1	14	1
30代	21	16	14	51	8
40代	47	37	27	111	16
50代	32	33	37	102	18
60代	30	39	22	91	17
70代以上	26	19	18	63	8
総計	163	150	120	433	69

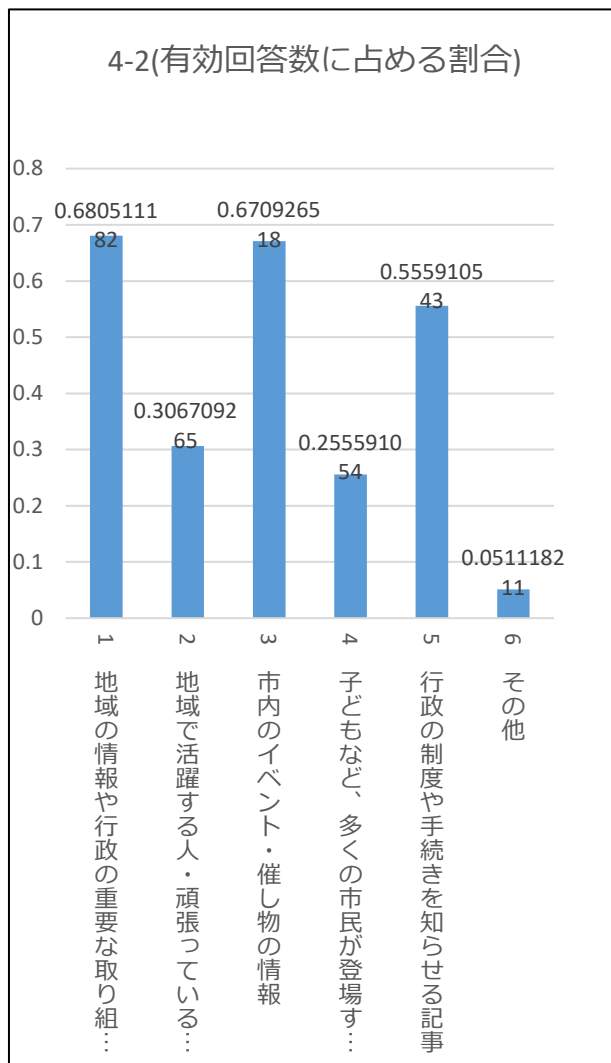
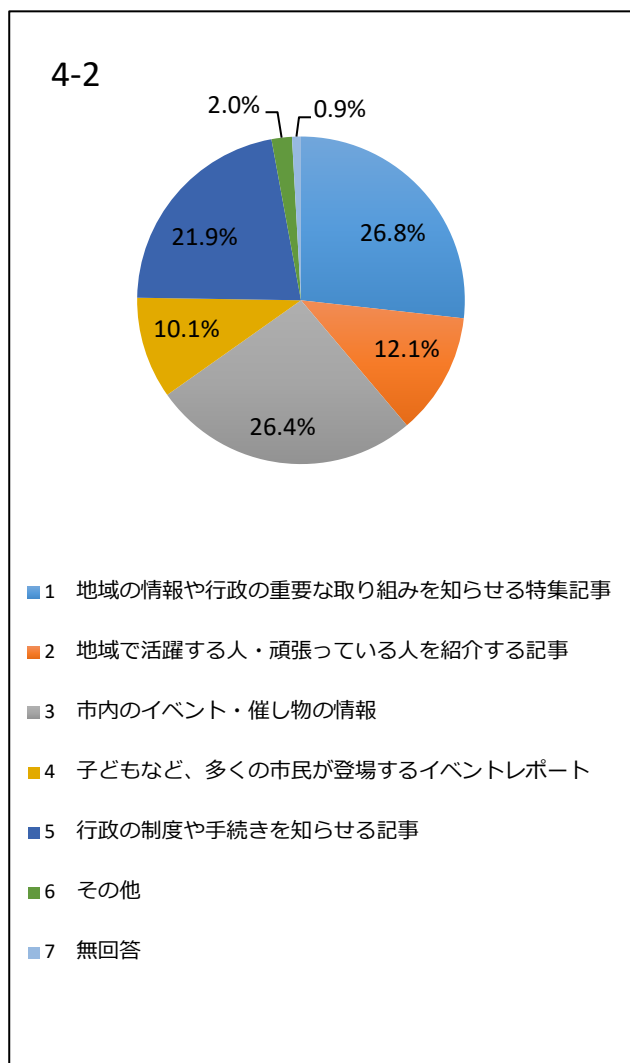


◆問4-1で紙媒体での発信を「充実してほしい」「維持してほしい」と答えた方のみ回答(有効回答数313)

4-2 充実してほしい内容はどれですか。(複数回答可)

紙媒体で充実してほしい内容について、「地域の情報や行政の重要施策をお知らせする特集記事」が26.8%と最も多く、回答者の68.1%が選択している。「市内のイベント・催し物の情報」が26.4%(回答者の67.1%)、「行政の各種制度などをお知らせする記事」が21.9%(回答者の55.6%)と続く。

回答	件数	割合	有効回答数に占める割合
1 地域の情報や行政の重要な取り組みを知らせる特集記事	213	26.8%	68.1%
2 地域で活躍する人・頑張っている人を紹介する記事	96	12.1%	30.7%
3 市内のイベント・催し物の情報	210	26.4%	67.1%
4 子どもなど、多くの市民が登場するイベントレポート	80	10.1%	25.6%
5 行政の制度や手続きを知らせる記事	174	21.9%	55.6%
6 その他	16	2.0%	5.1%
7 無回答	7	0.9%	2.2%
計	796	100.0%	



◆「その他」の回答

4-2 充実してほしい内容はどれですか。(複数回答可)

回答	件数	割合	有効回答数に占める割合
1 地域の情報や行政の重要な取り組みを知らせる特集記事	213	26.8%	68.1%
2 地域で活躍する人・頑張っている人を紹介する記事	96	12.1%	30.7%
3 市内のイベント・催し物の情報	210	26.4%	67.1%
4 子どもなど、多くの市民が登場するイベントレポート	80	10.1%	25.6%
5 行政の制度や手続きを知らせる記事	174	21.9%	55.6%
6 その他	16	2.0%	5.1%
7 無回答	7	0.9%	2.2%
計	796	100.0%	

→【その他】の内容

・市内でがんばっている飲食店などの特集。親子(特に未就学児)で楽しめるイベント、お店の情報があったらとても嬉しい

・読者からの提言欄

・充実させるために月に一回の発行でよい

・町のグルメや特売イベント情報

・大きな事や声ばかりでなく、ちいさな市民の楽しみなどの紹介などはいかがですか

・市役所の人は、何をしてるのか記事

・市民が参加できる勉強会などの募集

・人口維持策について

・月二回にしてほしい

・中高年講座を増やして欲しい。子どもへの芸術家派遣のような

・行事取組の申請方法や担当窓口

・以前のように月2回の方がわかりやすかった

・スポーツ協会所属団体の各種イベント紹介

・市民団体等が主催する催し物のお知らせ

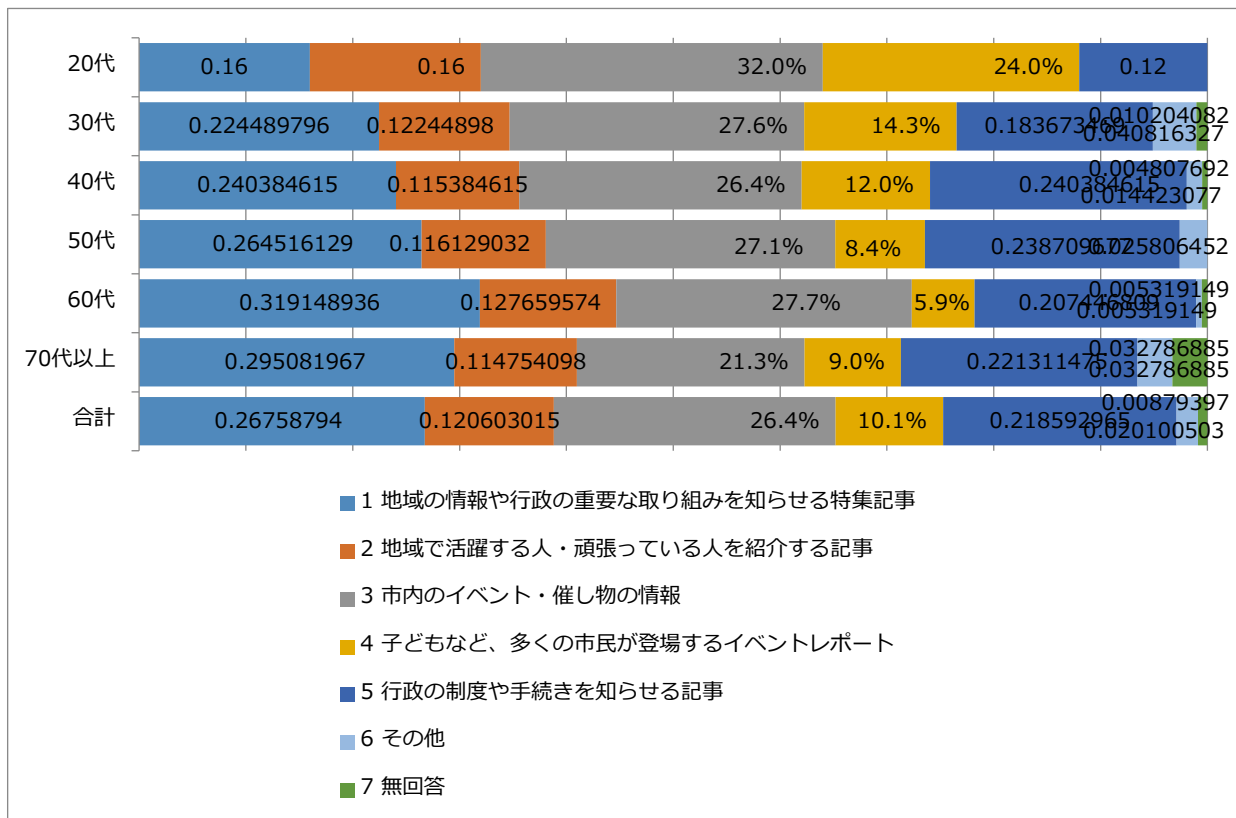
・那須塩原に来た人へ紹介、おすすめできる(隠れた名店等の)飲食店や雑貨屋、観光地等

◆クロス集計(問4-2×年齢)

4-2 充実してほしい内容はどれですか。(複数回答可)

「1 特集記事」を充実してほしいを答えた人の割合は、年代が上がるごとに上がっていく傾向があり、60歳代の31.9%が最も多かった。一方、「4 イベントレポート」と答えた割合は、年代が下がるごとに増える傾向があり、20歳代の24.0%が最も多かった。

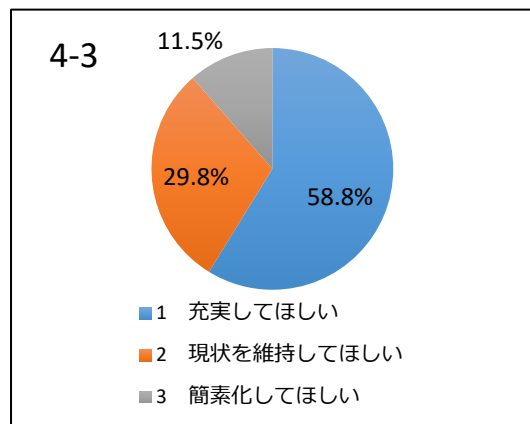
年齢	回答							
	1	2	3	4	5	6	7	総計
10代以下	0	0	0	0	0	0	0	0
20代	4	4	8	6	3	0	0	25
30代	22	12	27	14	18	4	1	98
40代	50	24	55	25	50	3	1	208
50代	41	18	42	13	37	4	0	155
60代	60	24	52	11	39	1	1	188
70代以上	36	14	26	11	27	4	4	122
総計	213	96	210	80	174	16	7	796



問4-3 【電子媒体(ホームページ、SNS等)】での情報発信を、今後どのように進め てほしいですか。(○は1つだけ)

今後のインターネット媒体による情報発信について「充実してほしい」が58.8%(令和元年度:44.8%)と最も多く、前回調査より14%増加した。「現状を維持してほしい」29.8%(令和元年度:45.8%)は前回調査より16%低下した。一方、「簡素化してほしい」は前回同様1割程度(令和元年度:9.4%)にとどまった。

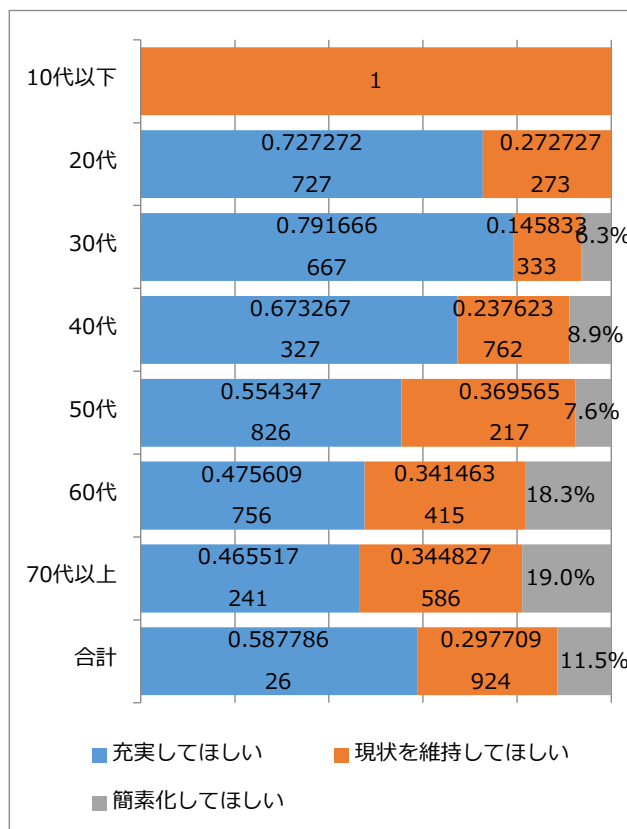
回答	件数	割合
1. 充実してほしい	231	58.8%
2. 現状を維持してほしい	117	29.8%
3. 簡素化してほしい	45	11.4%
有効回答数	393	100.0%
無回答・無効	109	-



◆クロス集計(問4-3×年齢)

「充実してほしい」と回答した割合は30歳代で最も高く、79.2%となった。その後、年齢が高くなるごとに「充実してほしい」と回答した割合は減少していく。一方、「簡素化してほしい」と回答した割合は70歳代以上が最も高い19.0%で、こちらは年代が上がっていくごとに増加する傾向が見られる。

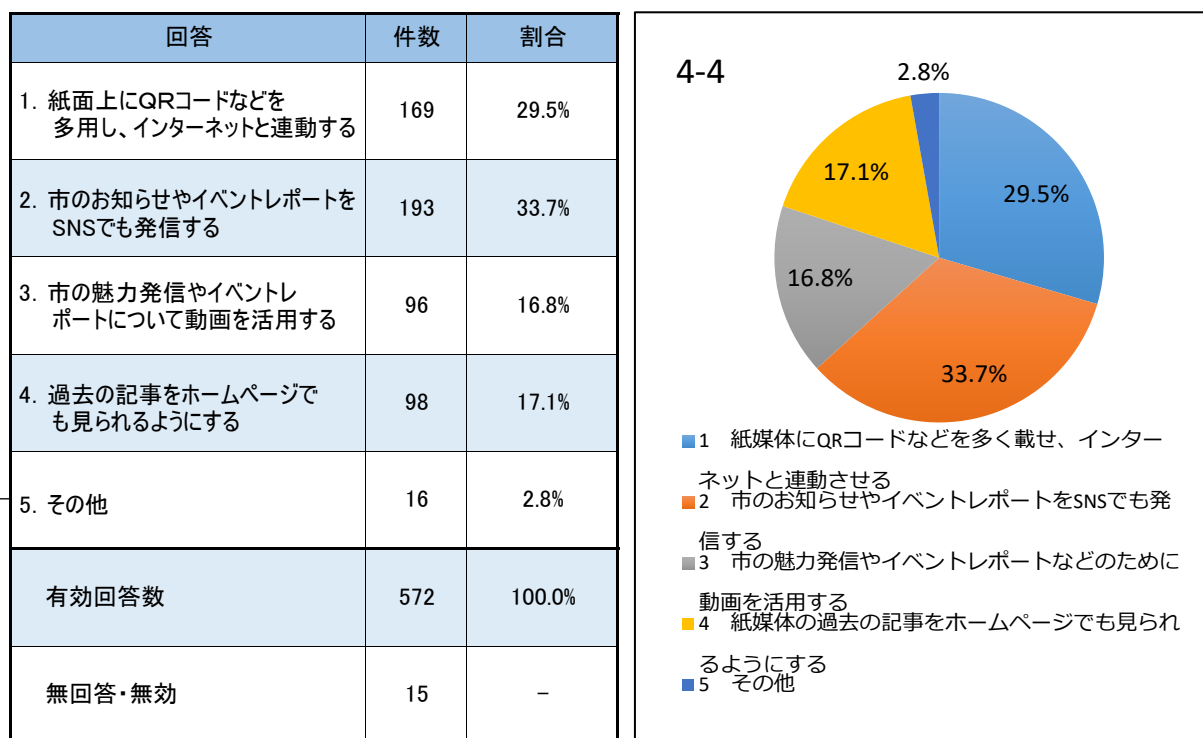
年齢	回答			総計
	充実	現状維持	簡素化	
10代以下	0	1	0	1
20代	8	3	0	11
30代	38	7	3	48
40代	68	24	9	101
50代	51	34	7	92
60代	39	28	15	82
70代以上	27	20	11	58
総計	231	117	45	393



◆電子媒体での情報発信を充実してほしい、現状を維持してほしいと答えた方のみ回答

4-4 充実してほしい内容はどれですか。(複数回答可)

インターネットで充実してほしい内容について、「市のお知らせやイベントレポートをソーシャルメディアでも発信する」が33.7%(令和元年度:30.6%)と最も多く、次いで「紙面上にQRコードなどを多用し、インターネットと連動する」が29.5%(令和元年度:26.8%)と続き、どちらも前回調査より約3%ほど増加した。他の選択肢については17%ほどとなっている。



【その他】の内容

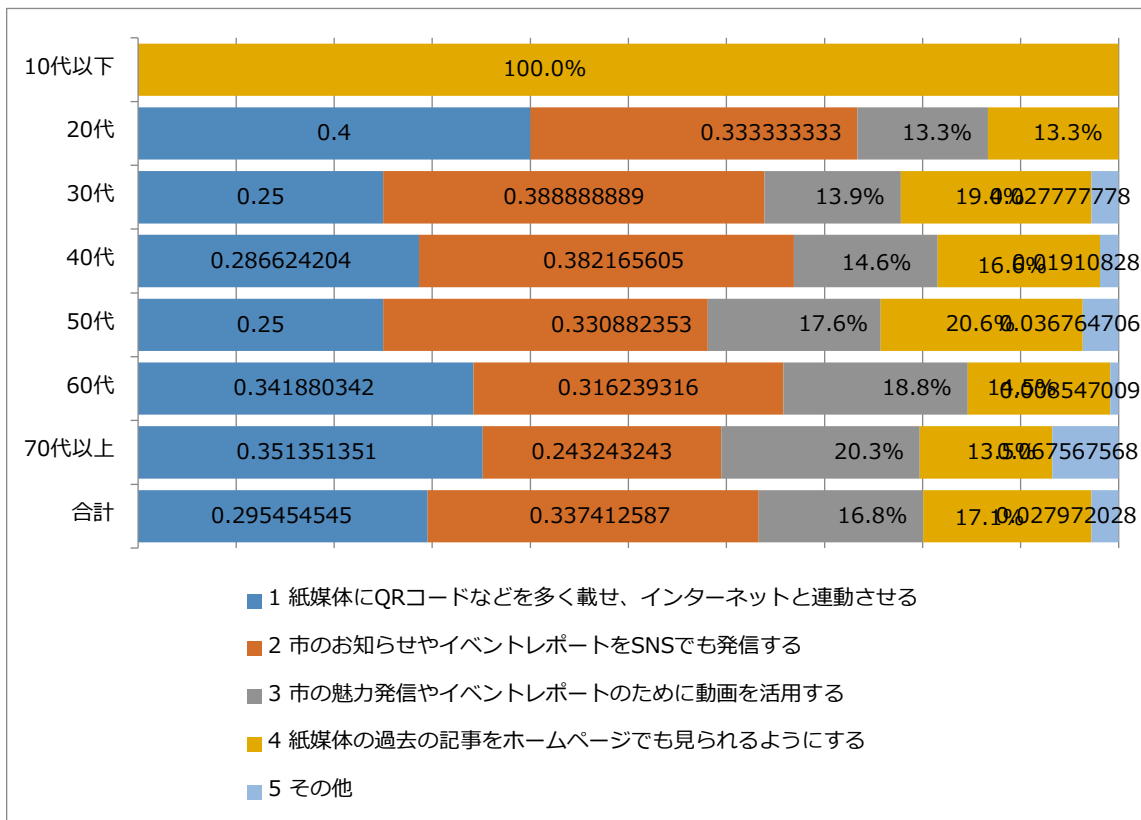
- ・双方向性に改善
- ・市民からも投稿できるようになればよいと思う
- ・今のまま即時性正確性を重視してください
- ・自治会の回覧板等のデジタル化
- ・広報なすしおばらそのものをインターネット媒体で見たい。紙はいらない
- ・紙媒体からwebページにしてもらいたい
- ・無料電子書籍として読めるように
- ・電子書籍
- ・情報発信ボランティアを募集
- ・現状維持で良いと思う
- ・ケーブルテレビ導入
- ・スポーツ協会所属団体のイベント募集記事
- ・市のホームページの見やすさや目的記事へのたどり着きやすさを充実してほしい
- ・なるべく写真を多用してほしい
- ・特定外来植物などのゴミゼロ運動化の実践活動の実施

◆クロス集計(問4-4×年齢)

4-4 充実してほしい内容はどれですか。(複数回答可)

インターネットで充実してほしい内容について、10代以下を除いてどの世代でも大きな差は見られず「紙面上にQRコードなどを多用し、インターネットと連動する」、「市のお知らせやイベントレポートをSNSでも発信する」を足すと6割弱～7割を占める結果となった。

年齢	回答					
	1	2	3	4	5	総計
10代以下	0	0	0	1	0	1
20代	6	5	2	2	0	15
30代	18	28	10	14	2	72
40代	45	60	23	26	3	157
50代	34	45	24	28	5	136
60代	40	37	22	17	1	117
70代以上	26	18	15	10	5	74
総計	169	193	96	98	16	572

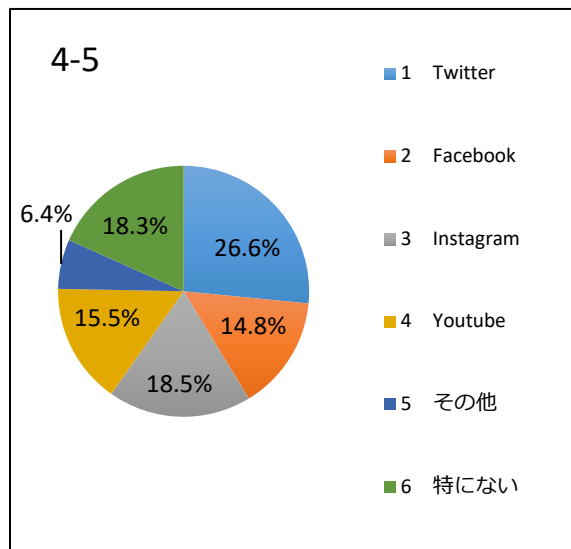


4-5 市に関する情報を、どのソーシャルメディアから得たいと思いますか。

(複数回答可)

市の情報を得たいソーシャルメディアについて、「Twitter」が26.6%(令和元年度:15.8%)と最も多かった。次いで、「Instagram」が18.5%(令和元年度:12.4%)、「特にない」が18.3%となる。前回調査時は「特にない」が39.2%で最も多かったが、多くの人々がSNSを使用するようになったことがわかる。

回答	件数	割合
1. Twitter	171	26.6%
2. Facebook	95	14.8%
3. Instagram	119	18.5%
4. Youtube	100	15.5%
5. その他	41	6.4%
6. 特にない	118	18.3%
有効回答数	644	100.0%
無回答・無効	39	-



→【その他】の内容

・特に限定しないで市のHPでわかりやすく発信すればよい

・LINE

・市のHP、重要なのはみるメール

・閲覧無料のもの

・広報誌

・みるメール

・mixi

・ホームページの双方向化

・メルマガ

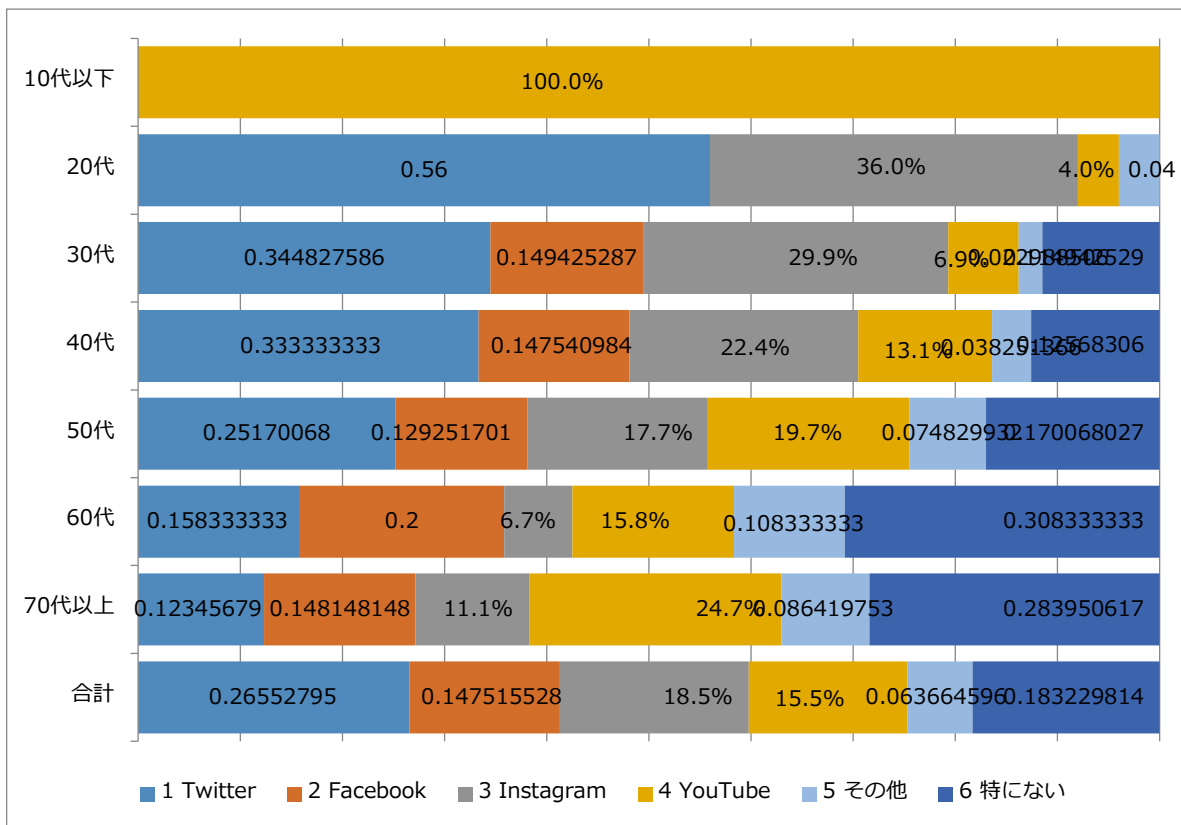
◆クロス集計(問4-5×年齢)

4-5 市に関する情報を、どのソーシャルメディアから得たいと思いますか。

(複数回答可)

市の情報を得たいソーシャルメディアについて、「Twitter」と回答したのは20歳代が56.0%と最も多かった。また、「Instagram」と回答したのも20歳代が36%と最も多い。「Twitter」、「Instagram」と回答した割合は、年代が上がるほど減少していく。「Facebook」と回答した割合は、10代以下及び20歳代を除く世代で1割～2割程度と世代間の格差はあまり見られなかった。

年齢	回答						総計
	1	2	3	4	5	6	
10代以下	0	0	0	1	0	0	1
20代	14	0	9	1	1	0	25
30代	30	13	26	6	2	10	87
40代	61	27	41	24	7	23	183
50代	37	19	26	29	11	25	147
60代	19	24	8	19	13	37	120
70代以上	10	12	9	20	7	23	81
総計	171	95	119	100	41	118	644

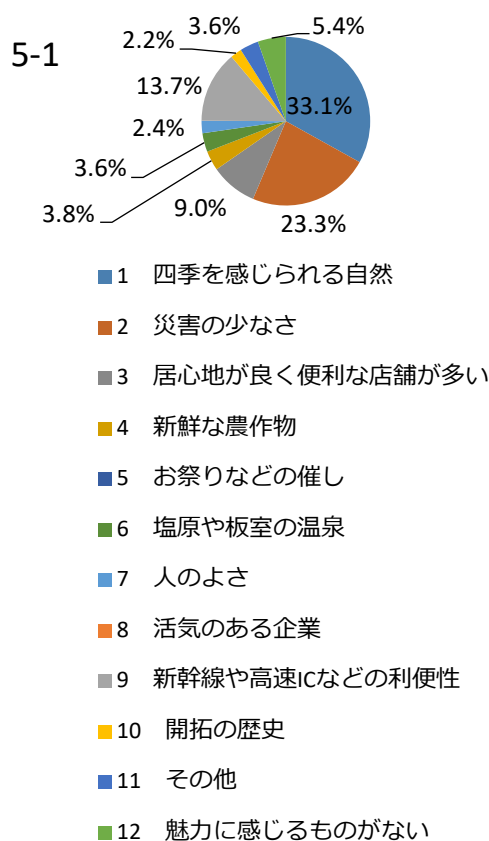


5. 那須塩原市の魅力について

5-1 那須塩原市のどのようなところが魅力だと思いますか。（○は1つだけ）

市の魅力について、「四季を感じる自然」が33.1%(令和元年度:29.4%)と最も多く、「災害の少なさ」が23.3%(令和元年度:28.8%)と続いている。次いで「新幹線や高速ICなどの利便性」が13.8%(令和元年度:14.1%)と約1割となっており、他の選択肢はわずかである。

回答	件数	割合
1. 四季を感じる自然	166	33.1%
2. 災害の少なさ	117	23.3%
3. 居心地が良く便利な店舗が多い	45	9.0%
4. 新鮮な農作物	19	3.8%
5. お祭りなどの催し	0	0.0%
6. 塩原や板室の温泉	18	3.6%
7. 人のよさ	12	2.4%
8. 活気のある企業	0	0.0%
9. 新幹線や高速ICなどの利便性	69	13.8%
10. 開拓の歴史	11	2.2%
11. その他	18	3.6%
12. 魅力を感じるものがない	27	5.4%
有効回答数	502	100.0%



⇒【その他】の内容

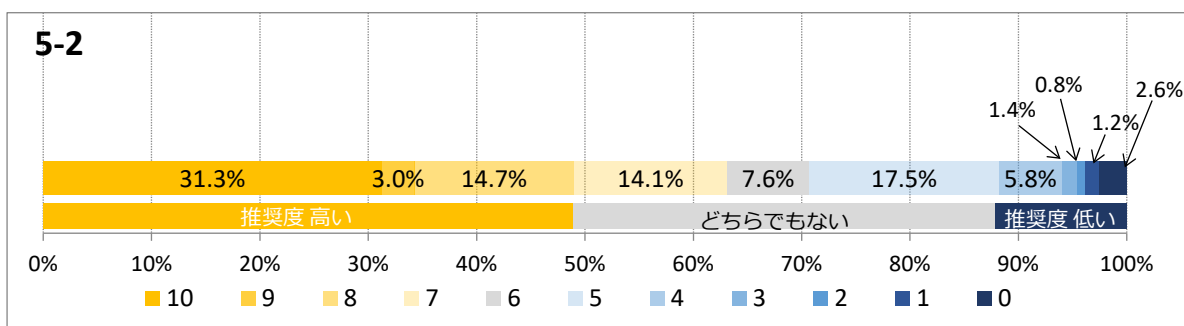
- ・複数回答にしてほしい…！1.3.4.6.7.8.9です
- ・市長が素晴らしい
- ・一つではなく複数あります。総合的に住みやすい
- ・全部
- ・黒磯エリアの個性的なカフェやお店
- ・お洒落で他の過疎地とは違った都会的で斬新な取り組み
- ・魅力的なカフェがたくさんあり、那須塩原市のカフェ巡りをするのが楽しいところ
- ・ラーメンなどの飲食
- ・市長の行動の速さ
- ・四季の自然、地盤の強さ、温泉
- ・ペットと楽しめる観光スポット
- ・年々開発の波で悪化していますが、四季がハッキリした生活環境が魅力です

5-2 「那須塩原市の魅力を誰かにすすめたい」とどの程度思いますか。

0 から10 とした場合、該当する数字を1つお選びください。

地域の推奨意欲について、推奨意欲が高い8以上の割合は49.0%(令和元年度:35.2%)で前回調査時より13.8%増、低い4以下の割合は11.8%(令和元年度:7.5%)となっており前回調査時より4.3%増加した。推奨意欲が高い層の割合が37.2%上回っている。

すすめたい			どちらでもない					すすめたくない			
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	有効回答数
157	15	74	71	38	88	29	7	4	6	13	502
31.3%	3.0%	14.7%	14.1%	7.6%	17.5%	5.8%	1.4%	0.8%	1.2%	2.6%	100.0%
49.0%			39.2%					11.8%			100.0%



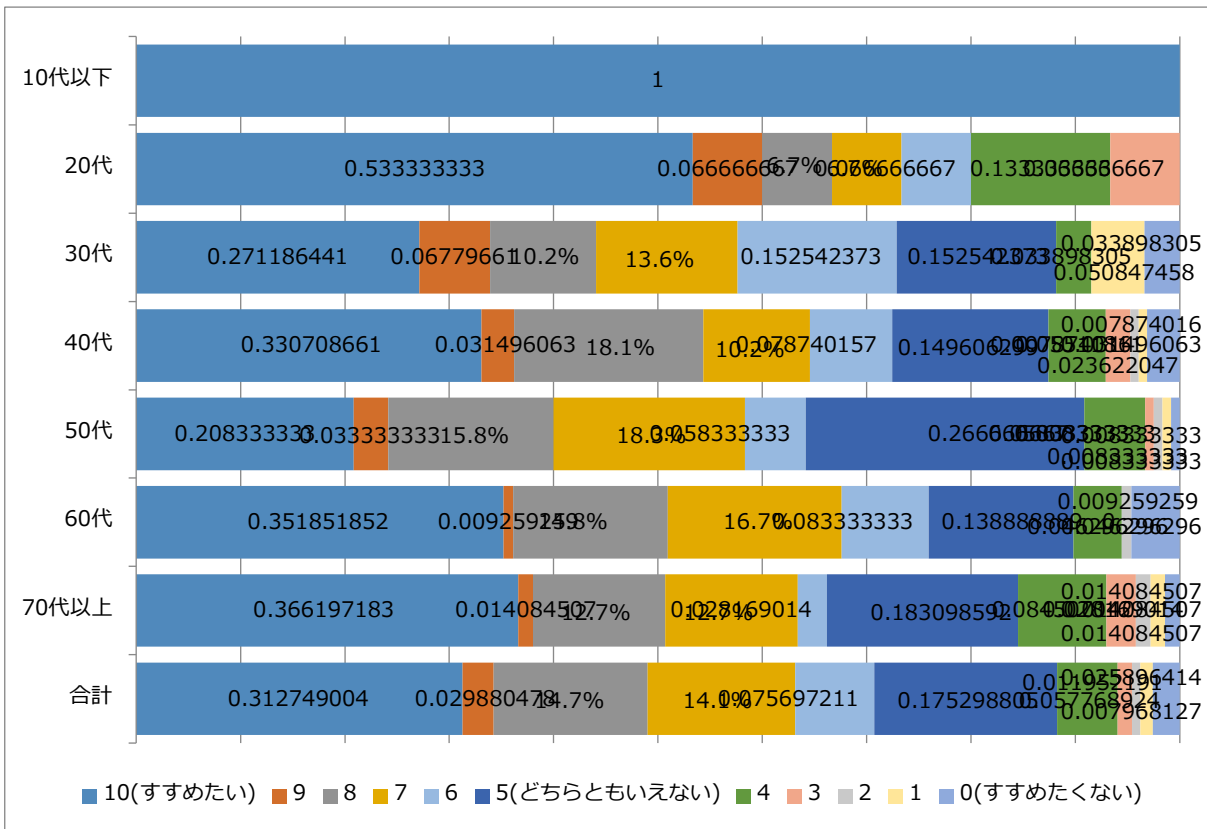
◆クロス集計(問5-2×年齢)

5-2 「那須塩原市の魅力を誰かにすすめたい」とどの程度思いますか。

0 から10 とした場合、該当する数字を1つお選びください。

年代別の地域の推奨意欲について、推奨意欲が高い8以上の回答は10代以下が100%、20歳代が66.7%と、若者の推奨意欲が高い結果となった。一方、50歳代が39.9%で最も少なかった。また、推奨意欲が低い4以下の回答は、20歳代が20%と最も多い結果となった。対して、推奨意欲が高い8以上の回答が最も少なかった50歳代は、推奨意欲が低い4以下の回答も最も少なく、9.2%となっている。

年齢	回答											総計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
10代以下	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
20代	8	1	1	1	1	0	2	1	0	0	0	15
30代	16	4	6	8	9	9	2	0	0	3	2	59
40代	42	4	23	13	10	19	7	3	1	1	4	127
50代	25	4	19	22	7	32	7	1	1	1	1	120
60代	38	1	16	18	9	15	5	0	1	0	5	108
70代以上	26	1	9	9	2	13	6	2	1	1	1	71
総計	157	15	74	71	38	88	29	7	4	6	13	502



6. 市の情報発信への意見・感想

・回覧自体負担に思っている方がいる

・検診予定が年度変わるとき、いつも日程が遅い 勤務希望があるので3月中に来年度の予定を知りたい

・先日、那須塩原市のホームページを閲覧しました。ダイバーシティ推進課に欲しい情報がありました。とても良い内容でした。もっと広報に力を入れてください。お願いします

・安否確認も含めて、「みるメール」は、双方性を強化して、回答を返信できるようにする。市内の無線電波環境は悪く、しかも公共施設での無料Wi-Fi環境は整っておらず、企業や市民の移転の弊害になっている。まず、年一回の防災訓練は、返信できるようにして、自動集計、被災地区がすぐ分かる様にすべきだと思います。

せっかく新幹線も在来も高速道路もあり、東京からも近いので「情報ネットワーク都市」として、企業も家庭も入居したい街に変えるべきです。当然、インバウンド需要を取り込めるように、パスワード無しで使用できる無料Wi-Fi環境を整備して下さい！

・誌面なのですが祭りなどの写真など載せるのはいいのですが、実際に見に行きたいのもっと祭りなどいつやるなどを告知してほしい。告知しているとしたらもっと目立つようにしてほしいです。

・ごちゃごちゃせず 簡条書きでわかりやすく

欲しい情報を簡単に見つけやすく。

イベントやるなら派手に若い子が食いつきやすい事を

高齢者と子育て世代ばかりに目を向けていると中間の働き盛り世代がそっぽ向く(違う町へ移住等)。節税対策や戻ってくるお金の手続き方法を市がしっかり発信すれば那須塩原市の信用は大きくなる

・広報誌は 掲載内容がバランスよく出来てると 思います。これからも 頑張ってください。

・現状維持で良いと思う

・広報の発行が月1に減ったぶん、情報にタイムラグが生じる記事が見られたり、お知らせ等の情報もずれている場合もある。身近な情報をすぐ知ることができる発信方法と重要かつ必要な時にすぐ見るようなお知らせ等では、発信の方法を変えたほうが良いと思う。若い人中心の情報発信ばかりを模索するのではなく、高齢者世帯でもわかりやすく見やすく、慣れている紙媒体は今後も必要だと思う。誰にでも必要な情報がいつでも見られるような配慮があるといいと思います

・コロナ禍により、市内で活動しているサークル等の会員が激減しています。スポーツ、文化活動いろいろなサークルの活動状況を広報誌で取り上げていただきたい

・ホームページがわかりにくい。必要な情報にたどり着くことが非常に困難。ゴミのアプリもとても使いづらい。ぜひ改善してほしい

・自治会の回覧板を極力無くしてほしい

・タイムリーな発信が多く感謝しています

・イベント情報が少ない。ホームページが見にくい

・他県から移住、広報については満足しているが地名が分からないのでイベントがある場合地図も入れてほしい

・ SNSを使わない方やしっかり読みたい方もいると思うので紙物もあったら良いと思いますが、自治会に入っている全ての人に配らなくても良いと思います。班回覧にしたら自治会の班の数だけで済むと思います。紙媒体で欲しい方には予め前年度の班長さんに次年度紙媒体で広報が欲しい方の人数を確認してもらい自治会長に「〇〇班は個別で何部欲しいです」と伝えて、自治会長が〇〇地区は班回覧分と個別分で何部欲しいと市役所に要望すれば、印刷する部数も減るのでコストカットにも繋がって良いのではと思います。

・ 市民が受けることのできる制度や補助金などを国や県のものと一緒に併せて情報発信してほしい

・ 必要な情報を確実に届けて欲しい

・ 広報誌の入手が街中でもっと簡単に出来るように願いたい。公共場所のみでなく店頭などでも

・ アパートやマンションに住んでいると中々自治会へ加入できない…加入していても回覧は回って来ない。地域から疎遠になっているため公平に情報ほしい

・ みるメールで情報が来ても、リンクがないことがある。入り口があった方が見る人は多いだろうから入り口のリンクはあった方がいいと思います。わざわざ検索するなら見なくていいと思われたらチャンスロスになるので

・ 主観では良く発信してくれてると思う。今と同じくらいの予算で今後もやっていき増やすことには反対。

子どもの問題 福祉などの内向きにも力を入れてもらいたい

・ 市のホームページの情報にはしばしばpdfでのみ参照可能な情報がありますが、スマートフォン等からだとそのたびにファイルをダウンロードして別アプリで表示しなければならないので面倒です

・ 広報誌を読む年代は高齢者がほとんどです。横文字に頼らず、誰でも理解できる言葉を選んで欲しいです。若い年代は、広報誌よりもスマホやPCなどから情報を得ています。情報を得ることが難しい年代のためにも優しい日本語での発信を望みます

・ もっとペーパーレス化を進めて欲しいです。ゴミ減量

・ ①SNSの情報発信スキル教育・組織内情報の共有

一部の方のSNSの情報発信は素晴らしいと思いますが、ほとんど担当者に依存しているような気がします。去年あたりから農務畜産課とかすごくよくなりましたよね。担当者が変わると、発信数や内容がガラッとかわったり、フェイスブックとツイッターとインスタで内容の濃さや発信数が極端に違うと感ずみます。担当者が変わってもきちんと情報発信できるようトレーニングを進めていただくとよいと思います。

②災害時の情報発信を素早くわかりやすく

市長の情報発信はとても早くてわかりやすいと思います。素人だと「高速道路アンダーパス 矢板61 冠水のため通行止め」と言われてもどこかわかりません。市長のは図や写真が添付されており、ぱっと見でわかりやすいです。図が無理なら、せめて「矢板61 一般県道 折戸西那須野線 接骨木アンダー」ぐらいの記載をお願いしたいです。

緊急時は職員の皆さんも大変だと思いますので、日ごろの訓練も時間をかけて本番に発揮できるようによろしくお願いします。

・ 市長のどうでも良い記者会見のたんびにテレビに出ただのどうだのとメールしなくて良い。市役所でコロナが出るとお知らせが来るが、毎回濃厚接触者なしだが、そんなに広い所で仕事してるんですか？ 本当の情報じゃないと意味が無いと思いますが？

・ 年配者やお子様向けでなく街全体の人に向けての情報をお願い致します。

-
- ・親しみやすい内容をもっと盛り込んで欲しい。例えば…
 - いろいろな切り口で、タイムリーな人物をたくさん紹介する。くるとみるるが完成した際、設計者のインタビュー記事を掲載して欲しかった
 - 那須塩原の歴史を紹介する。クイズ形式なども楽しい
 - エリアごとの特徴をガイドブック風に紹介する
 - 市長の一日を取材レポート
-
- ・お年寄りには紙媒体（文字を大きめ）、若者にはYouTubeなどの動画やSNS、と広い世代に取り入れやすい情報発信が必要だと思います
-
- ・広報なすしおばらの更なる充実をお願いしたい。電子媒体による発信では、届かない世帯(高齢者)も多い。市政の方向性が見える充実した内容への改善が必要。近隣市町の広報紙を是非参考にしてほしい
-
- ・いつも紙媒体については高品質な紙がもったいないと話題になっております。時代にあった情報発信の仕方を考えていただきたいと思います。このような意見が言える機会があることはとてもよいと思います
-
- ・未だに古臭い考え方をしている人が多いので、情報発信だけでなく、行政自体の考え方を一新したほうがいいと思う
-
- ・税金の無駄遣いがないかの検証。特にコロナ対策が適切だったか。
 - ・コロナ感染情報のLINE配信が多すぎる
 - ・黒磯に魅力的なお店が増えない。大田原や西那須は増えてるのに
-
- ・自治会のシステム自体が時代錯誤。年配に合わせるとこうなってしまうのかもしれないが、回覧板などはLINEで一発で即時全員に知らせられるのに。アナログシステムに頼って、無駄な手間ばかりで疲れる
-
- ・賃貸に住んでいて自治会に加入していない時期が長かったが、その頃欲しかった子育てに関する情報が、広報（紙媒体）を見れば良いことに気づかず、制度等を活用しきれなかった。特に賃貸物件に住む若年層は自治会に加入していないケースが多いと思うので、facebookやLine、みるメール（広報記載内容の概要と市のHPへのリンクだけでも）での発信を進めてほしい
-
- ・コロナで療養中の家庭もあるだろうに回覧版が回ってくるのが疑問。コロナに気をつけて！と緊急回覧版を回してる自治会もありました
-
- ・市内の催しやイベント、助成金の情報をツイッターでどんどん発信してほしい
 - ・那須塩原市に引っ越してきて、那須塩原市のファンになりました。応援しています
-
- ・市長が変わってから、市民への情報ツールが増え、届く内容も速さも比べ物にならないくらい改善されていい。ただ、当番医、支援、相談、案内、等が知りたい時、ネットで検索するか、広報の最後の方のページを見ないと分からないのが不便。電子書籍で毎月、LINEで見れるようになるるととても便利。市の案内も広報では見逃す事が多いので、仕事の休憩時間に読めるような電子書籍だとありがたい
-
- ・積極的に、細かく情報を発信していただく事で、更なる市に対しての信用度が増すと思います。情報発信の専門部署を作って頂きたいと存じます
-
- ・幼児が遊べる場所が欲しい
 - ・今の発信でも那須塩原市は良い方だと思う。年齢が高い人はSNSは難しいと思う
 - ・SNSの活用を進めてもいいと思う
-
- ・図書館に良く行くので、図書館での情報発信もお願いします
-

・コロナの感染者数や市職員の感染の配信はやめて欲しい。知りたかったらこちらから見に行きます。感染者の情報はストレスです。

LINEも最初は登録してましたが、コロナ情報ばかりで嫌になりブロックしました。本当は受け取りたいのですが、やむを得ません

・市長のTwitterを始め、市役所の情報発信はうまくいってると思います。拙宅は今年度から自治会を抜けましたが、自治会（会長などの役員）への市からの助成金があんなに支出されてることを知り愕然としました。正直見直しを凶って、それを情報発信のための経費に充当していただきたいと思いました。紙媒体を配るための自治会の回覧板のあり方はもう時代に合わないと思いますし、新聞の折り込みだった方が良かったのでは？ぜひ検討されて、情報発信のため機器をもっと増やしていただきたいと思います

・様々な媒体で閲覧できるのは良いと思います。コロナの影響もありスマホで閲覧が増えました

・紙媒体での情報を欲しがると世帯と、紙は全く読まない世帯が混雑している今は、どちらかだけにシフトするのは難しいと思います。まだまだ広報紙が必要な昨今、どちらも同じだけの情報を発信する必要を感じます。紙媒体を無くすのではなくどちらも同じ公平な情報量を提供するという気持ちでいる必要を感じます。数年後、紙がなくなることを前提に今は同じ量を公平に…。世代間の不公平をなくすことを念頭に置いてほしいと思います

・市長のTwitterとてもいいです！

・Instagramを活用することが近年増えているのでたくさんアップしてくれるとお店や温泉、行ってみたい所に繋がります。ぜひ使って欲しい手段です

・細かい道の舗装道路も綺麗にしてもらいたいです。

・那須塩原市に留まらず、北那須などの広域な情報も発信して欲しい

・紙冊子の形状は一覧性があると思うが、ワクチン接種や災害の対応など、即時性が必要な話題には向かないので、紙媒体を発行するコストは別の媒体に振り向けたほうが良いのではないか。東京の複数の区に住んでいたが、カラー中綴じというリッチな仕様の市報は見たことがない。何か特別な意味があるのか。

冊子の配布を自治会が行っているが、単身者、高齢者、共働きなどの世帯には月1回の配布作業が負担に感じる世帯も多いと思う。（郵便受けに入れるだけなので近隣の見回りという意味も感じにくい）大型スーパーなどと連携して、必要な人が受け取れるようにしたら良いのではないか。

市のサイトから閲覧できるPDF版の市報が非常に見にくい。ページ繰りできるようにするとか、

・那須塩原市と那須町は別の自治体であるという情報発信の徹底をすべき。

那須塩原市長が何か世間を騒がせる情報発信をした際に全く関係ない那須町が、単に那須塩原市と言う名称を短絡的に理解している人達からもバッシングを受けていました。

それに関して、何も訂正しようとしぬ市長の対応もどうかと考える。

塩原温泉、魅力ありますか？

廃墟が目立ち、全体的に寂れた印象を受けます。必要な事は地域の人間が安く泊まれるサービスではなく、温泉街としての再開発。

それが出来ないのであれば、無駄な宣伝などせずに予算を貯めておくほうが良い。

那須塩原市は日帰りで楽しむのがメインの観光地に特化すべき。

・広報誌の紙配布を廃止して、SNSやホームページで配信してほしい

・東京から移住してきましたが移住者を応援する企業が少なすぎる。収入を安定させるのに苦労しています。せっかく大好きな那須に来たのに…

・市長の存在が強過ぎて、部署ごとの発信が霞んでいるような気がします

・老眼で文字が読みにくくなってきたので、電子書籍化し、iPadで読みたいです。iPadなら拡大表示ができます

・情報は、市のホームページにもっとのせるべき。 那須塩原駅前をもっと有効活用すべき

・今後SNSを中心とした社会へ移行していく事は間違いないですが、まだまだご高齢の方は活用し切れていないと感じます。そのような事から一気に移行は出来ないと考えます。当面は二面性を持たせる事が良いかと。

また、市長の様々な実績をもっと市民に周知出来たら良いと思います。

・鹿沼市のように、ケーブルテレビを市内に導入してほしい

・TwitterやFacebookを取り入れるなら、閲覧方法などの手順を教える講座を開いて欲しい

・市運営施設の情報ページが少ないと思う。(那須野が原博物館他)

・私は情報を得るためにスマホを活用していますが、スマホがない人がどのように情報を得るかが心配です

・班回覧物もホームページに掲載してほしい

・必要なものは漏れなく、解りやすく

・コロナの陽性者数は新聞で十分ですね

・市民に必要な制度の説明が不足してると思います。

市役所も大変なのは理解出来ますが市民は行かなければいけない場所であり、分からない事だらけなのに市民に思いやりが足りない場所になってると感じます。

上手く言えませんが市を良くしたいなら市民を大切にするべきだと思います。

・読み終わったあと、紙ゴミで処分しています。ホチキスを取るのが大変なので、ホチキスでとめないでほしいです

・ご近所付き合いが出来る、回覧板が回せる紙の広報誌がいいのですが、自治会に入らない時代、他人と関わりを持ちたくない時代、電子の方が大勢の方の目にとまるのかなあと思っています。

たまたま見たTwitterに市役所に職員と思われるつぶやきを見ました。その方、個人の意見なので本当かどうか分かりませんが、喧く時は、気をつけるように徹底した方がいいと思います。

・自治会での回覧物にする必要性を感じない

紙媒体での必要な人のみに配布し、無駄をなくす努力をした方が良くと思う

そもそも自治会の存在意義すら疑問に思う

協力出来るものは協力していく事が大切だが、無理をしてまでの自治会とはなんなのか日頃疑問に思う

・安否確認も含めて双方向対応をして欲しい！

1年に1回、防災の日や市の特別日に安否確認を双方向で確認し、解答率や地域濃淡をデータ化する。

・広報に税金を使うならもっと他のことに使って欲しい。どうしても広報を作りたいならモノク口でいいと思う。あの冊子を1冊作るのに多額の税金が使われてるかと思うのもったいない。

もったいないと思ってもすぐにごみ箱行きになってしまう

・まず栃木県で一番と評価される様になって欲しい

・SDGs等にも取組んだり、SNSやTVへの発信もしていて、素晴らしいと思います。しいておねがいしたいことは、ゴミ袋が有料なので、プラスチックの資源ゴミ対応を早急をお願いしたいです

・行政の方針記事が多くつまらない。民間との連携してもよいと思う。まとめてSNS流して欲しい

紙は、欲しい人に有料で配布すればよいのでは。SNSに移行してよいと思います。
他の部署もたくさん新聞つくってる。

・情報発信の内容、回数を増やして欲しい

・市の知りたい情報を簡単にわかりやすく得られるように工夫して行ってほしい

・これからの市をどの様にしていきたいのかを特集を組んで継続的に発信する事

・紙媒体をできるだけ減らして欲しい。配るのが苦痛に感じる方もいる

・人口維持、増加策についてどの様な施策がなされているか見えません

・紙は、税金の無駄、エコではない。情報社会として紙ではなくネットやSNS上から確認すれば良い

・広報誌以外の回覧物が多すぎる

・広報に関して、高齢者向けの記事は文字を大きくしてほしい

・イベントの時は、車で交通手段になるので、ナビが使えるように記載して頂ければありがたいです

・もっと簡単でわかりやすい言葉で書いてほしい

・自治会退会者が増えているので、加入メリットを増やしてほしい。高齢者や単身世帯では、費用負担その他負担も問題となって退会になり情報伝達も困難になる

・みるメールの配信が遅いことがある。

行間がないので読みづらい

・紙媒体は確かに時代にそぐわないものと（事実、新聞の購読率は六割）思います。そのため、高齢者社会での代替手段を生みつつ、デジタル化への移行する必要があるものと考えます。また、今の広報誌なすしおぼらでは、情報量が多すぎ、高齢者も読まなくなっています。手段を絞り込み単純化、しかし「必要なときに必要な情報が、市民誰にでも届く」方法を期待しています。

・紙の広報誌をやめてほしい。数ヶ月前に一度新聞広告で配布して欲しい。

・配信の仕方よりも、内容（行事や催事、行政の取り組み）が寂しい。そこを面白くしないと、いくら配信、発信しても市民は嬉しく無いと思います

・道路は狭く、歩行者や自転車使う人とかは、いつ事故に遭うかと不安だらけ。夜は、街路灯も防犯カメラもなく、ひかれても分からないような道路ばかり。交通網も酷く、車がない人には地獄のような所。引越して、大失敗でした！

・電子媒体を使わない高齢者にも情報が行き届くようにして欲しい。また、災害に関わる危機管理の情報を充実させて欲しい

・住民に必要な情報はメールやLINEに、市外の人向けの魅力発信情報はインスタ・Facebook・YouTubeに、と棲み分けすべき。Twitterはそれぞれ別アカにすれば良い

・みるメールの発信が多すぎる。ソーシャルメディアで十分に用は足りる

・観光地らしく、清潔感がある施設を！道の駅の充実

・発信ではないけれど、市民としての意見をどこに伝えたらよいかかわからないので、意見を吸い取れるような仕組みを作ってほしい。ご意見箱のようなもの

・みるメールを活用して、情報を得ています。情報が早くて便利です

・ケーブルテレビを導入して地域の放送を増やし活性化、栃木市、鹿沼市、真岡市を見習う

・那須塩原ブランド冊子を知らない職員がいたので、ホームページに載せた情報くらいは全員で把握してピーアールに努めた方が良いと思います。折角市の予算で作ったみるるや、くるるも、イベントの時に人が集まっておらず、チラシの無駄や人員配置の無駄が見られます。コロナ禍で人が集まりにくいのかもかもしれませんが、内外に周知させる努力がもう少し必要かと感じます。那須塩原市に来てからイベントや観光地を知るのではなく、旅行前に知ってもらって、「これがあるから、行きたいな」「これをしに、行きたいな」と思ってもらえる営業努力がもう少しあると良いと思います。よろしくお願いします。

・市長の会見やテレビ放映についての情報など全く知らない。役所のコロナ情報も、濃厚接触なし、消毒とバカの一つ覚えみたいな嘘なら、お知らせする意味無し。濃厚接触無しのわりには、同じ部署で何人も出るんですね

・そろそろ紙による情報発信を止めたらどうか。経費もばかにならないだろうし自治会による配布も負担になる。紙による情報を欲しがると思うが、新聞の折り込み、市役所や公民館に設置するなど方法はいろいろあると思う。

・職務の失態、それに対する対策等も載せて欲しい
市役所内のSDGsの取り組みや女性の役職率等の公表

・様々に今、必要な情報発信が自治体には求められていると考えますが、このまちで楽しく安心に暮らす市民の日々を伝えることも大切なことかなと思います

・ホームページが新しくなり、少し見づらい。ほしい情報が検索しにくい。以前のが良かった

・ホームページが見づらく中身が貧弱すぎる。詳しい行政情報が古かったり無かったりして結局電話で問い合わせたり、他市のHPで補わざるを得ない。

サイト内検索も分かりにくく、初めて閲覧する人への配慮がない。

トップページだけ着飾って悦に入ってますか？自己満足してませんか？

担当部署に情報の充実の意欲が感じられません。同程度の規模の市のHPと見比べてみるといいのでは。

県北の雄にふさわしいものを期待しています。

・広報の回数を減らす

・LINEフォローしていますが、コロナ騒動以降毎日新規感染者の情報が配信され、ほぼコロナ関係のメッセージで埋め尽くされており、那須塩原市の目指すニューノーマルについて3/22の市長定例で触れたにも関わらず、その方針に沿った配信がなされていないと感じます。

例えば市の施設の利用が緩和された情報がどこかで配信されましたでしょうか？学校開放やスポーツ施設の利用緩和は3/18に行われたはずですが、こういった情報こそSNSでタイムリーに配信して、ニューノーマルに向かって動いているのだと伝えていただきたいです。コロナは恐怖の殺人ウィルスで感染してはならぬと散々煽られてきましたが、いまだ新規感染者数を連日配信し続けることは感染すること自体が問題だとするメッセージに他ならず、ウィズコロナに逆行する内容と感じます。

・市民の苦境をもっと知るべき

・紙媒体は捨てるだけなので、希望制にして無駄をなくして欲しい

・みるメールなども含めて双方向生の拡充。なお、1メール/1世帯のみるメール加入とするため、インセンティブを与えたり、年に一度の安否確認や防災時の情報収集をする訓練に使用すること

・自治会加入者が減り各戸配布に切り替えました。回覧は、コピーしました

・毎月、表紙が素敵です。

写真やイラストが沢山載っているし、カラフルな文字使いも気を引いて読みやすいと思っています。

作成されている皆さん、ありがとうございます。

・道路が、ひどすぎます。特に西那須野から大田原への道、最近コスモス薬局が出来た歩道は、幅が狭く段差があって、転びそうになるし、自転車同士もすれ違えない。せめて、段差だけでも直さないと、近いうちに事故が起きます

・市民に内容のあるものを、より迅速に

・市民にとって必要な情報を確実に届けて欲しい

・市の活性化事業に期待しております。塩原、板室の未開拓地を利用した事業の推進に期待致します。

・市民が気軽に参加できるイベントを多く紹介して欲しい

・自治会経由の広報配布をやめていただきたい。紙媒体は無駄だし、情報自体が古くなってしまおう

・市長のYoutube発信を見て市の方向性を理解している

・紙媒体が必要な人のみ配布にしてもらいたい

・忙しい日々を過ごしているので、広報が月1回になってから一度にたくさんの情報が載るようになり、情報の取捨選択が出来ずあまり読まなくなりました。

しかし、重要な事柄を見逃しているのではないかと不安になります。

LINEとみるメールは登録していますが全部の情報が届くわけではありません。ホームページ等を自らチェックすることもなかなか出来ないのイベント等知らずに過ごすことも多いのではないかと感じています。

・広報は、無駄辞めて下さい

・映画館や少し大きい施設を西那須野に移動してほしい

・税金の無駄使いを無くして欲しい。紙の広報誌は、無駄、ゴミ

・市の主となる情報発信が、SNSの場合LINEに限られている。他のSNSがあるのにLINEに限定するのは如何なものか。役所としての公共性に疑問を感じる。またLINEは、携帯電話に紐付けられるので、個人情報漏洩にも繋がるのではないかと疑ってしまう。LINEの他のSNSにも公平に情報発信をしてほしい。因みに、市長個人のFacebook、Twitterの発信の方が、市役所の情報よりずっと早く伝えているので、いつも拝読している。

・紙はいらない

・河畔公園など大きい公園がありますが、運動がしにくい公園です。グラウンドを使用していない時などは無料開放してほしい

・情報量は若干減るかもしれませんが、文字は大きい方が読みやすい。文字が小さいと読まなくなってしまう

-
- ・単身赴任で各地の広報誌にふれ見劣っていると思っていたが、近々は充実度が増してきたと思います。他都市の広報等も参考により充実する事を期待します
-
- ・大田原は色んな店があるのに、那須塩原市はドラッグストアばかり。特に旧黒磯
-
- ・もうコロナの陽性者数発表メールや、市の職員の陽性の情報はいらないです。誰もがかかる病気なのに、市の職員だからといって年齢や部署を流されるのはかわいそうに思います。
-
- ・大田原市の方が住みやすそう。保育園等も改善してほしい
-
- ・那須塩原市の火災、事件事故、速報ニュースをLINEで送って欲しい
-
- ・メールに画像が欲しい
-
- ・最近の公式ラインはコロナばかりでほぼスルーしてしまう。コロナ情報は別のアカウントにして、公式ラインは別な情報にしてほしい
-
- ・みるメールやLINEでのタイムリーな情報が増えて、わざわざホームページを開かなくても必要な情報が得られるようになりました。これからも情報発信の充実をお願いします
-
- ・みるメール、学校メールは自治会長登録を必須とする。会議、自治会回覧において市の情報が共有報告されない。特に防災、防犯、災害等人的、ごみ問題等報告が無い。学校事業が理解されていない。要望としてごみステーションに掲示板を設置する計画している。助成金適用を検討していただけないか
-
- ・しっかりと必要な情報を様々な手法（LINEやみるメール、その他SNS）を活用して発信してくれていると常々思っています。私の上記問5のおすすめしたいと思う理由には、そんな市の情報発信力がイチオシで入ってます。これからも発信、お願いします！
-
- ・広報を発行することが目的になっていないだろうか？ 行政に興味のある人は自分で広報を貰いに行くか、ホームページで情報を得れば良いと思う
-
- ・ホームページで広報を見る際に、スマホでの見やすさも考慮して欲しい
-
- ・ホームページでの検索機能をせめて世の中一般レベルに引き上げてほしい。何種類もワードを変えても欲しい情報にたどり着かずあきらめることが多い（結局片っ端からページを開けていつて見つけるしかない）
-
- ・各地域ごとの情報発信して、活性化して欲しい
-
- ・那須野が原博物館での講座や勉強会等を充実してほしい。また、それらの案内を情報発信してほしい
-
- ・ホームページで必要な情報にたどり着けない
-
- ・広報誌発行に携わる方々は、誌面に多くの工夫をしてくださっていると思う。ただ配布に多くの人を必要とするため、発行回数を減らし、新聞折り込みなどにして欲しい。コロナ禍でもあり、多くの人々が触る回覧板も含めて各家庭に外部から入り込むものを極力無くして欲しい。
-
- ・みるメールで継続中の注意報が出なくなりました。復活させて欲しい
-
- ・マンションへの紙媒体は、もう要りません。電子媒体でも時々読みます
-